

■ 著者

- 藤井 謙治 京都大学名誉教授
- 野間 敏克 同志社大学教授
- 水内 俊雄 大阪市立大学教授
- 浅川 俊夫 東北福祉大学准教授
- 浅田 淳一 元福山市立城南中学校教諭
- 五百旗頭 真 兵庫県立大学理事長
ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長
- 池野 範男 日本体育大学教授
- 井田 仁康 筑波大学教授
- 市川 則文 三重大学大学院特任教授
- 一ノ瀬 俊明 国立環境研究所上席研究員
名古屋大学大学院教授
- 伊藤 直之 鳴門教育大学大学院准教授
- 井上 満郎 京都市歴史資料館館長
京都産業大学名誉教授
京都大学総合博物館教授
- 岩崎 奈緒子 京都大学総合博物館教授
- 大岡 聡 日本大学教授
- 大西 宏治 富山大学教授
- 大庭 邦彦 聖徳大学教授
- 奥山 研司 花園大学特任教授
- 角田 将士 立命館大学准教授
- 兼間 昌智 札幌市立もみじ台中学校校長
- 川北 稔 大阪大学名誉教授

- 金田 章裕 京都大学名誉教授
京都府立京都学・歴史館館長
- 熊田 禎介 宇都宮大学准教授
- 栗栖 薫子 神戸大学大学院教授
- 桑原 敏典 岡山大学大学院教授
- 小長谷 有紀 日本学術振興会監事
国立民族学博物館客員教授
- 米家 泰作 京都大学大学院准教授
- 指 昭博 神戸市外国語大学学長
- 佐藤 幸治 京都大学名誉教授
日本学士院会員
- 佐藤 廉也 大阪大学大学院教授
- 周藤 芳幸 名古屋大学大学院教授
- 曾我 謙悟 京都大学大学院教授
- 高岡 裕之 関西学院大学教授
- 田口 紘子 鹿児島大学准教授
- 棚橋 健治 広島大学大学院教授
- 辻中 豊 東海大学副学長
筑波大学名誉教授
- 中尾 敏朗 群馬大学教授
- 永田 成文 三重大学教授
- 橋本 康弘 福井大学教授
- 樋口 雅夫 玉川大学教授
- 二川 正浩 東京家政大学准教授

- 二村 太郎 同志社大学准教授
- 松田 聡子 桃山学院大学教授
- 松本 哲治 同志社大学大学院教授
- 三枝 暁子 東京大学大学院准教授
- 水山 光春 京都教育大学名誉教授
京都橋大学教授
早稲田大学名誉教授
- 宮口 侗廸 山形大学大学院教授
- 村山 良之 大阪教育大学教授
- 森 実 桐蔭横浜大学教授
- 谷田部 玲生 東京経済大学教授
- 山田 晴通 富山大学教授
- 山根 拓 京都大学大学院教授
- 吉川 真司 和歌山大学大学院教授
- 吉田 道代 日本文教出版株式会社 ほか2名

- 防災・安全教育に関する校閲
片田 敏孝 東京大学大学院情報学環特任教授
- 河田 恵昭 関西大学特別任命教授
- 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲
大内 進 国立特別支援教育総合研究所名誉所員・特任研究員
- 道徳教育に関する校閲
島 恒生 畿央大学大学院教授

令和3年度版 中学社会 歴史的分野 内容解説資料



日本文教出版のウェブサイトのご案内

弊社ウェブサイトでは、新版教科書に関する情報や、日々の指導に役立つ資料などを発信しています。

https://www.nichibun-g.co.jp/r3textbooks/c-shakai_reki/

掲載内容

- 内容解説資料
- 内容解説動画
- 教科書検討の観点からみた特色
- 編修趣意書
- 社会科機関誌「社会科NAVI」 ほか



新しい資料も
随時アップします。



教科書QRコンテンツは、下記URLまたはQRコードからご覧いただけます。詳しくは本書P.32-33をご覧ください。

<https://www.nichibun-g.co.jp/2021dc/csha/reki/>

この冊子は、植物油インキと再生紙を使用しています。

令和3年(2021年)度版 中学校社会科 内容解説資料

116	教科書 記号・番号
日文	
歴史 709	

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD22203

日本文教出版 株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

- 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
- 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
- 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
- 東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18・7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
- 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日本文教出版
詳しくはWebへ!

日文 検索



未来をにう子どもたちへ
日本文教出版



目次

個性豊かなキャラクター達が、生徒とともに学習に取り組むことで、主体的な学びを促します。



はると なつみ あきら ゆき

編集 基本方針

4

基本方針1 質の高い学びや授業を保証する

- 教科書をつらぬく新しい流れ
歴史的な見方・考え方を働かせる工夫 6
- 何を学び、どう深めるか
授業や生徒の思考の流れに沿った構成 8

基本方針2 生徒自らが学びに動き出す

- もっと知りたく、考えたいくなる
主体的・対話的で深い学びの実現 10

基本方針3 学びを日々の生活や社会に活かす

- 新しい時代を築く知恵とビジョンを！
「歴史との対話」を未来に活かす 14

ポイント

18

ポイント1 歴史を楽しく確実に学ぶ 20

ポイント2 学習を支える教科書QRコンテンツ 32

ポイント3 学習上配慮した点 34

ポイント4 分野をこえた連携 36

ポイント5 教科書で取り上げた主な地域事例 38

- 教科書検討の観点からみた特色 40
- 学習指導要領との対照表・配当授業時数 44
- 観点別教材一覧 45
- 教師用指導書のご案内 46
- デジタル教科書・教材のご案内 48

歴史

編集 基本方針

「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念とし、
 18歳選挙権をみすえて、
 生徒が「社会的な見方・考え方」を働かせた学習を通して
 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、
 新しい時代の国家・社会の形成者として必要な
 「公民としての資質・能力の基礎」を育成することを願ひ、
 本教科書を編集しました。

基本方針

1

質の高い 学びや授業を 保証する

確実な知識・技能の定着



基本方針

2

生徒自らが 学びに 動き出す

主体的・対話的で
深い学びを通じた
思考力・判断力・表現力等の育成

基本方針

3

学びを 日々の生活や 社会に活かす

学びに向かう力・
人間性等を養う



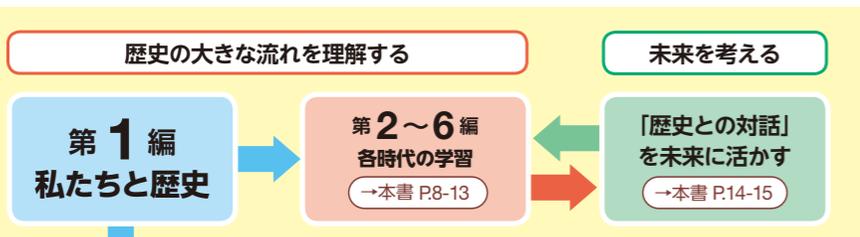
教科書をつらぬく新しい流れ 歴史的な見方・考え方を働かせる工夫

導入単元である第1編「私たちと歴史」では、小学校での学びを振り返り、「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習の仕方を学びます。第2～6編では、第1編で学んだ「見方・考え方」を使って各時代の特色をとらえ(→本書P.8-13)、歴史の学習の最後には、先人たちの知恵を受け継ぎながら未来を構想する学習「『歴史との対話』を未来に活かす」(→本書P.14-15)に取り組む構成にしています。

教科書の構成について

導入単元である第1編「私たちと歴史」、各時代の特色を学ぶ第2～6編、未来を構想する学習「『歴史との対話』を未来に活かす」の順番で構成され、生徒が歴史の大きな流れを理解して、学んだ歴史をふまえて未来を考えることができるようになっています。

新学習指導要領が示す歴史的分野の授業時数135時間に対して、この教科書は115時間の授業時数で学習が完結できるようにしており、**余裕をもった指導計画の作成が可能です。**



新学習指導要領に対応して、本教科書では「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習ができるようにしています。「歴史的な見方・考え方」は **時系列**・**推移**・**比較**・**つながり** を指し、第1編では小学校の歴史学習を振り返る活動を通して、この「歴史的な見方・考え方」を自然に理解することができるようにしています。

1 小学校の学習を振り返る

小学校で学習した歴史上の人物や文化財を、親しみやすいイラストと写真で紹介しています。→本書 P.36

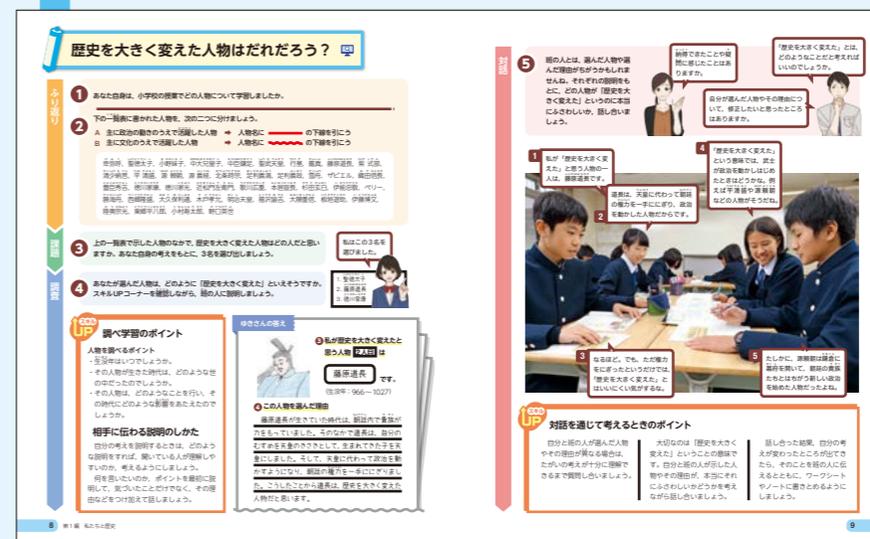


←P.6-7

注目!
「歴史的な見方・考え方」を働かせた中学校の歴史学習にスムーズに移行できます。

2 歴史を大きく変えた人物は誰か、考える

小学校で学習した人物のうち、「歴史を大きく変えた人物」は誰かを考えます。また、歴史を大きく変えたとはどのような意味なのか考えることで、年代や時代区分について学びます。



←P.8-9

3 「歴史的な見方・考え方」を学ぶ

これまでの学習が、「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習であることを確認させ、これらの「見方・考え方」について丁寧に説明し、「見方・考え方」についての理解を深めることができます。



←P.12-13

「見方・考え方」を中学校の歴史学習でどのように働かせるのかについては、次ページをご覧ください。

何を学び、どう深めるか 授業や生徒の思考の流れに沿った構成

本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、「見方・考え方」を働かせながら考える問いである「深めよう」を示したほか、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」を設け、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を企図した学習活動を提示しました。

1

導入資料

見開きの学習内容の導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

2



学習課題

この見開きで何を学ぶかを示します。この課題を考えながら学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる

注目!



見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な見方・考え方の例を示しています。→本書 P.6-7

資料活用

→本書 P.22

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。

知識を活用して、課題を考えたり、解決したりできる紙面になっています。



学習内容を掘り下げて、歴史の学習を幅広くゆたかなものに行うことができるコラムです。



資料の活用や、話し合いなどの活動から深く学んでいけそうだね。

3

本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

注目!



深めよう

学習課題の理解を深めるため、見方・考え方を働かせる問いを示しています。

時代・世紀のスケール

学習している時代や世紀を、前後の時代も含めて常に確認できます。

4



確認

学習課題に対応し、学習内容の理解を確かにする問いを示しています。

1時間の学習をふり返る

2

鎌倉幕府の成立

1 現在の鎌倉のようす

2 鎌倉の地形の特徴は何か。

3 源頼朝 (1147~1199) (源頼朝木像 甲府市 善光寺蔵)

4 御恩と奉公

5 切通し 山の一部を切り開いて、鎌倉に通じる細い道がつくられました。

1 鎌倉幕府の政治

一 武士のための政治の始まり一

源頼朝と鎌倉幕府 1180年、伊豆にいた源頼朝や木曾(長野県)の源義仲などが、平氏をたおそうと兵をあげ、全国的な内乱が始まりました。鎌倉を本拠として指揮をとった頼朝は、集まってきた武士と主従関係を結んで御家人とし、武家の政治のしくみを整えていきました。頼朝が派遣した弟の義経らは、平氏を追って西に進み、1185年、壇ノ浦の戦い(山口県)で平氏をほろぼしました。その後頼朝は、対立して姿を隠した義経を捕らえるとして、朝廷にせまって国ごとに守護を、荘園や公領に地頭をおくことを認めさせ、御家人をこの役につけました。さらに、義経をかかまっていたことを理由に、奥州藤原氏を攻めほろぼし、1192年、頼朝は、武士の総大将として征夷大将軍に任じられました。こうして12世紀の末に鎌倉に立てられた武士の政権を鎌倉幕府といい、幕府の続いた約140年間を鎌倉時代といいます。将軍は、御家人の領地を公認・保護し、御家人を守護や地頭などに任命しました。これを御恩といいます。その代わりに、御家人は京都・鎌倉の警備にあたり、戦いときには、一族・郎党や下人を率いて命がけで合戦に参加しました。これを奉公といいます。鎌倉幕府の組織は、この御恩と奉公の関係をもとに成り立っていました。

2 鎌倉幕府のしくみ

一 鎌倉幕府のしくみ一

頼朝の死後、頼朝の妻政子の実家である北条氏がしだいに幕府の実権をにぎるようになり、執権という地位について政治を行いました(執権政治)。源氏の将軍が3代で絶えると、京都で院政を行っていた後鳥羽上皇は、1221(承久3)年、幕府をたおそうとして兵をあげました。しかし、北条氏に率いられた幕府の大軍に敗れ、隠岐(島根県)に流されました。これを承久の乱といいます。乱後、幕府は、上皇方についた貴族や武士の荘園を取りあげ、そこに新たに地頭をおきました。また、京都には六波羅探題をおいて、朝廷を監視し、西日本の御家人を統制しました。これによって、西国にも幕府の支配が広くおよびようになりました。1232(貞永元年)、執権北条泰時は、御家人の権利・義務や、領地の裁判などについての武家社会のならわしをまとめて、御成敗式目(貞永式目)を定めました。この法律は、その後長く武士の政治のよりどころとなりました。

→P.72-73

基本用語

歴史的分野における基本的な用語について、平易な言葉で解説しています。

小年表

この見開きのできごとが、いつ、どのような順番で起こったのかを確認できます。

小学校

連携コーナー

小学校の学習や地理・公民とのつながりを示しています。→本書 P.36

デジタルマーク

このマークのついた教材は、弊社ウェブサイトにあるデジタル資料で、学習を深めることができます。→本書 P.32

もっと知りたく、考えたくなる 主体的・対話的で深い学びの実現

各時代の学習では、生徒が学習のめあてを明らかにし、関心と意欲をもって取り組めるように豊富な写真資料を用いるなど「導入」を充実させています。続く「本文」では、「見方・考え方」「深めよう」を活用することで生徒の理解を助け、第2編から第5編第2章までの各編(章)には「チャレンジ歴史」を設定しました(→本書P.12-13)。また、「導入」に対応する「まとめ」としての「アクティビティ」で、生徒は着実に各時代の特色の理解を深めることができます。

第2～6編
各時代の学習

学習の見通しが立てられます!

導入ページ

本文

→本書 P.8-9

チャレンジ歴史

→本書 P.12-13

本文

学習の振り返りができます!

まとめページ

導入からまとめまでの流れは各編で共通です。こうした学習をくり返すことで、**通史の理解**を確かにします。



この時代の学習で何ができるようになればよいのかを、「めあて」で明らかにしています。また、世界地図や年表を使って、これから学ぶ時代を概観することができます。

第3編 中世の日本と世界



古代と中世の絵を見比べよう

目的の絵を見て、それぞれの時代や時代の特徴を取り、感じ合ってみよう。(→P.65の図資料の活用)

めあて

平安時代の貴族の絵と鎌倉時代の武士の絵の姿を比べて、どこがちがうか、どうしてちがうか、この單元ではそのまを解いていきましょう。そして、「中世」とはどのような時代か、中世の日本はどのような新しいしくみをつくりあげようとしたのかなど、自分の想像で説明できることをめあてましょう。

←P.64-65

注目!

資料の読み取りから導き出された、この単元の学習の「めあて」が明確に示されています。

本書P.24-27で、第4編の導入図版もご覧いただけます。



資料から前後の時代を比較することができます。

注目!

年表と世界地図を使って、時間軸と空間軸から時代を概観します。

→P.66-67

地図で見ると世界の動き

10～12世紀の世界と日本

各地の勢力の成長
西アジアでは、イスラ教を信仰する王朝が相次いで成立し、南アジアでも、ヒンドゥー教の王朝が相次いで成立した。東アジアでは、10世紀初めに唐が崩壊すると、10世紀後半に宋が国内を統一した。ヨーロッパのフランク王国は、異教徒を逐って領土を拡大した。

地図を見比べよう
この時代は、東洋・中東・ヨーロッパの3つの地域にわけて、各地でそれぞれの勢力が成長を見せた時代でした。

「学習の整理と活用」では、左ページに設けた年表と地図を使って学習の振り返りができるようにしました。右ページに設けた「アクティビティ」では、習得した知識を関連させて時代の特色をとらえる課題学習を示しました。

第3編 学習の整理と活用 とらえよう! 「中世の日本と世界」の特色

第3編 アクティビティ 「法」に着目して、中世の特色にせまろう

アクティビティ

注目!

「アクティビティ」に取り組むことで、「めあて」に対する**学びの成果**を確認し、**自己の成長**を実感できます。

注目!

比較や推移などの適切な「見方・考え方」を働かせて、時代の特色をとらえることができます。



アクティビティ

「アクティビティ」一覧

- P.63 第2編 「文字の変化」に着目して、古代までの特色にせまろう
- P.105 第3編 「法」に着目して、中世の特色にせまろう
- P.157 第4編 「幕府の収入」に着目して、近世の特色にせまろう
- P.219 第5編 第1章 明治政府の「政策」から、近代(前半)の特色にせまろう
- P.259 第5編 第2章 「戦争」に着目して、近代(後半)の特色にせまろう
- P.297 第6編 「復興と成長の源」に着目して、現代の特色にせまろう

働かせている主な「見方・考え方」

- 比較
- 比較
- 推移 比較
- つながり 比較
- 推移 比較
- 推移 比較

第2～6編 各時代の学習



歴史を面白く、深く学ぶ特設ページ

チャレンジ歴史

資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験します。資料の読み取りから選択・判断させる学習まで、生徒の発達の段階に応じた教材を掲載し、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫しました。

主体的な学びを
促す課題設定

生徒が興味・関心をもって主体的に取り組むことができる課題を設定し、学習に入りやすくなるようにしています。

対話的な学びを
促す活動

グループでの話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題を考えることができます。

↓P.34-36

考古学に挑戦! よろいを着た人物のなぞを解こう

2012(平成24)年11月、群馬県渋川市にある金井東裏遺跡から、1500年前の古墳時代の人の骨が発見されました。鉄製のよろいを着て、榛名山に向かって祈るかのよう伏せていたこの人物は、どのような人だったのでしょうか。

資料1 よろいを着た人物の出土を伝える新聞

資料2 金井東裏遺跡の位置

資料3 金井東裏遺跡の発掘状況

注目! 各所に設けたチャレンジ歴史で、「見方・考え方」を働かせた学習ができます。

学習の流れ

ステップ1 よろいを着た人物は、ムラのなかでどのような立場にあった人なのでしょうか。

ステップ2 近くから女性1体、子ども2体の骨も発見されました。よろいを着た人物とどのような関係があったのでしょうか。

資料4 よろいを着た人物についてわかったこと

資料5 他の3人の人物についてわかったこと

資料6 よろいを着た人物の復元

学習の流れ

ステップ3 入骨は4体だけだった一方、同じ火山灰の面には多くの足あとが同じ方向を向けていました。どのような人たちが歩いていたのでしょうか。

ステップ4 よろいを着た人や金井東裏遺跡の人々の当時の状況を明らかにしましょう。

資料7 よろいを着た人の復元

私が解いた「よろいを着た人物」のなぞ

1 「よろいを着た人物」とは

2 私が考えた新聞の見出し

「チャレンジ歴史」一覧	働かせている主な「見方・考え方」
→P.34-36 第2編 考古学に挑戦!よろいを着た人物のなぞを解こう	つながり
→P.74-75 第3編 承久の乱を通して、古代から中世への変化を考えよう	推移
→P.136-137 第4編 江戸幕府のライバル対策を通して、中世から近世への変化を考えよう	推移
→P.216-217 第5編 第1章 経済発展か、環境保全か、足尾鋇毒事件を通して考えよう	つながり
→P.254-255 第5編 第2章 戦時体制の言論統制とその影響を考えよう	つながり

※「チャレンジ歴史」には、それぞれ1時間を配当しています。

深い学びを
促す教材

「歴史的な見方・考え方」を働かせて時代の転換を考えたり、当時の国民と同様に選択・判断をしたりするなど、深い学びを実現できるようにしました。

デジタルマーク

すべての「チャレンジ歴史」には、デジタル資料として、ワークシートを用意しています。

→本書 P.32-33

第2編 古代までの日本と世界 チャレンジ歴史 教科書 P.34-36

考古学に挑戦! よろいを着た人物のなぞを解こう

年 組 番 名前 学習日 年 月 日

1 よろいを着た人物について、資料1～4を読んでわかったことをまとめよう。

2 ほかの3人の人物について、資料1～5を読んでわかったことをまとめよう。

3 資料6を読んで、発掘された人々の足あとから、当時の人々がとった行動を考えよう。

デジタル資料を活用して、いつでもどこでも、**自学自習**に取り組めます。



新しい時代を築く知恵とビジョンを! 「歴史との対話」を未来に活かす

歴史の学習の最後に、学んできたことをふまえてよりよい未来を構想する学習「『歴史との対話』を未来に活かす」を設けました。P.298-299には、現代の諸課題の歴史を調べる学習に活用できるテーマ別さくいんを設け、P.300-305にかけては、現代社会の課題として、災害・政治参加・世界平和の三つの例を提示しました。

「歴史との対話」を未来に活かす

第6編「現代の日本と世界」の学習で現代に残された課題を学んだあとに、これらの課題の解決に向けて歴史をふまえて未来を考える学習「『歴史との対話』を未来に活かす」を設けました。培ってきた資質・能力を発揮させる、歴史の最後の学習です。



1 「テーマ別さくいん」を使う

生徒自らが探究したい課題を設定し、その課題について調べることができるように、**政治・経済・社会・文化・外交**の四つのテーマに分けたさくいんを掲載しました。

「歴史との対話」を未来に活かす

私たちは、第6編「現代の日本と世界」の学習で、解決が求められるさまざまな課題があることを学びました。それらを解決するためには、どのように考えていけばよいのでしょうか。

歴史の学習では、できごとがなぜ起こったのか、それらが何と関連し、またどのような結果をもたらしたのかという、因果関係を大切に学んできました。

それぞれの課題を正しくとらえるには、その成り立ちや変遷を知ることが必要です。また、それらの課題解決に向けた先人たちの営みや知恵を学ぶことも大切なことです。現代の諸課題について、その歴史をふり振り返り、先人たちの知恵に学びながら、よりよい未来をつくる第一歩を考えていきましょう。

「テーマ別さくいん」の活用について

次のページから、現代社会の課題の例として、災害・政治参加・世界平和について考えています。その他の課題について考えていてもかまいません。選んだ課題に関する歴史をふり返るとき、下のテーマ別さくいんのほか、P.311～317の人名・事項のさくいんを活用しましょう。

政治

議会の成立 164, 165
憲法・法(日本) 40, 43, 47, 73, 84, 95, 97, 117, 119, 127, 136, 137, 146, 147, 172, 180, 181, 184, 196, 198, 199, 201, 212, 231, 233, 245, 266, 267, 279, 291
大正憲法 43
天皇や貴族の政治 40
律令制度の立て直し 52
藩閥政治 54
議院政治 70
議院の形成 88
南北の対立と合 88, 89
憲法改正 88
武士の台頭 71
平政権 71
立憲政治 72
立憲政治 73
立憲政治 89
立憲政治 126
憲法改正 146, 147, 173
憲法改正 177
近代国家の形成 180, 181
立憲政治 181
立憲政治 184
自由民権運動 194, 195, 196, 197
内閣 197, 200, 205, 212, 230, 232, 243, 245, 268, 273, 288
内閣 198, 199
大日本帝国憲法 198, 199
立憲政治 199, 200
立憲政治 230, 231
立憲政治 230, 243
立憲政治 231
立憲政治 231, 233, 266, 267
立憲政治 24, 25
立憲政治 166, 167
立憲政治 166

経済・社会

農業 182, 185
日本の産業革命 210, 211
労働 211, 227, 267, 278
労働 213
労働 278
労働 278
労働 279
労働 282, 288
労働 282, 288
労働 31, 32, 44, 47, 54
労働 96, 97, 119
労働 119, 127, 134, 135, 147, 180, 181
労働 181, 194
労働 77, 90, 135, 201, 212, 233, 267, 281

文化

芸術 50, 56, 79, 93, 101, 142, 143, 153, 213
小説 56, 79, 101, 143, 153, 213, 236
芸術 56, 79
芸術 99, 111, 122, 143, 152, 153, 214, 23, 24, 101, 101, 122, 123, 142, 143, 234

外交

外交 25, 31, 33, 40, 48, 49, 53, 55, 112, 113, 114, 116, 130, 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 139, 140, 141, 142, 143, 144, 145, 146, 147, 148, 149, 150, 151, 152, 153, 154, 155, 156, 157, 158, 159, 160, 161, 162, 163, 164, 165, 166, 167, 168, 169, 170, 171, 172, 173, 174, 175, 176, 177, 178, 179, 180, 181, 182, 183, 184, 185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197, 198, 199, 200, 201, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217, 218, 219, 220, 221, 222, 223, 224, 225, 226, 227, 228, 229, 230, 231, 232, 233, 234, 235, 236, 237, 238, 239, 240, 241, 242, 243, 244, 245, 246, 247, 248, 249, 250, 251, 252, 253, 254, 255, 256, 257, 258, 259, 260, 261, 262, 263, 264, 265, 266, 267, 268, 269, 270, 271, 272, 273, 274, 275, 276, 277, 278, 279, 280, 281, 282, 283, 284, 285, 286, 287, 288, 289, 290, 291, 292, 293, 294, 295, 296, 297, 298, 299, 300, 301, 302, 303, 304, 305, 306, 307, 308, 309, 310, 311, 312, 313, 314, 315, 316, 317, 318, 319, 320, 321, 322, 323, 324, 325, 326, 327, 328, 329, 330, 331, 332, 333, 334, 335, 336, 337, 338, 339, 340, 341, 342, 343, 344, 345, 346, 347, 348, 349, 350, 351, 352, 353, 354, 355, 356, 357, 358, 359, 360, 361, 362, 363, 364, 365, 366, 367, 368, 369, 370, 371, 372, 373, 374, 375, 376, 377, 378, 379, 380, 381, 382, 383, 384, 385, 386, 387, 388, 389, 390, 391, 392, 393, 394, 395, 396, 397, 398, 399, 400, 401, 402, 403, 404, 405, 406, 407, 408, 409, 410, 411, 412, 413, 414, 415, 416, 417, 418, 419, 420, 421, 422, 423, 424, 425, 426, 427, 428, 429, 430, 431, 432, 433, 434, 435, 436, 437, 438, 439, 440, 441, 442, 443, 444, 445, 446, 447, 448, 449, 450, 451, 452, 453, 454, 455, 456, 457, 458, 459, 460, 461, 462, 463, 464, 465, 466, 467, 468, 469, 470, 471, 472, 473, 474, 475, 476, 477, 478, 479, 480, 481, 482, 483, 484, 485, 486, 487, 488, 489, 490, 491, 492, 493, 494, 495, 496, 497, 498, 499, 500, 501, 502, 503, 504, 505, 506, 507, 508, 509, 510, 511, 512, 513, 514, 515, 516, 517, 518, 519, 520, 521, 522, 523, 524, 525, 526, 527, 528, 529, 530, 531, 532, 533, 534, 535, 536, 537, 538, 539, 540, 541, 542, 543, 544, 545, 546, 547, 548, 549, 550, 551, 552, 553, 554, 555, 556, 557, 558, 559, 560, 561, 562, 563, 564, 565, 566, 567, 568, 569, 570, 571, 572, 573, 574, 575, 576, 577, 578, 579, 580, 581, 582, 583, 584, 585, 586, 587, 588, 589, 590, 591, 592, 593, 594, 595, 596, 597, 598, 599, 600, 601, 602, 603, 604, 605, 606, 607, 608, 609, 610, 611, 612, 613, 614, 615, 616, 617, 618, 619, 620, 621, 622, 623, 624, 625, 626, 627, 628, 629, 630, 631, 632, 633, 634, 635, 636, 637, 638, 639, 640, 641, 642, 643, 644, 645, 646, 647, 648, 649, 650, 651, 652, 653, 654, 655, 656, 657, 658, 659, 660, 661, 662, 663, 664, 665, 666, 667, 668, 669, 670, 671, 672, 673, 674, 675, 676, 677, 678, 679, 680, 681, 682, 683, 684, 685, 686, 687, 688, 689, 690, 691, 692, 693, 694, 695, 696, 697, 698, 699, 700, 701, 702, 703, 704, 705, 706, 707, 708, 709, 710, 711, 712, 713, 714, 715, 716, 717, 718, 719, 720, 721, 722, 723, 724, 725, 726, 727, 728, 729, 730, 731, 732, 733, 734, 735, 736, 737, 738, 739, 740, 741, 742, 743, 744, 745, 746, 747, 748, 749, 750, 751, 752, 753, 754, 755, 756, 757, 758, 759, 760, 761, 762, 763, 764, 765, 766, 767, 768, 769, 770, 771, 772, 773, 774, 775, 776, 777, 778, 779, 780, 781, 782, 783, 784, 785, 786, 787, 788, 789, 790, 791, 792, 793, 794, 795, 796, 797, 798, 799, 800, 801, 802, 803, 804, 805, 806, 807, 808, 809, 810, 811, 812, 813, 814, 815, 816, 817, 818, 819, 820, 821, 822, 823, 824, 825, 826, 827, 828, 829, 830, 831, 832, 833, 834, 835, 836, 837, 838, 839, 840, 841, 842, 843, 844, 845, 846, 847, 848, 849, 850, 851, 852, 853, 854, 855, 856, 857, 858, 859, 860, 861, 862, 863, 864, 865, 866, 867, 868, 869, 870, 871, 872, 873, 874, 875, 876, 877, 878, 879, 880, 881, 882, 883, 884, 885, 886, 887, 888, 889, 890, 891, 892, 893, 894, 895, 896, 897, 898, 899, 900, 901, 902, 903, 904, 905, 906, 907, 908, 909, 910, 911, 912, 913, 914, 915, 916, 917, 918, 919, 920, 921, 922, 923, 924, 925, 926, 927, 928, 929, 930, 931, 932, 933, 934, 935, 936, 937, 938, 939, 940, 941, 942, 943, 944, 945, 946, 947, 948, 949, 950, 951, 952, 953, 954, 955, 956, 957, 958, 959, 960, 961, 962, 963, 964, 965, 966, 967, 968, 969, 970, 971, 972, 973, 974, 975, 976, 977, 978, 979, 980, 981, 982, 983, 984, 985, 986, 987, 988, 989, 990, 991, 992, 993, 994, 995, 996, 997, 998, 999, 1000

↑P.298-299

注目!
テーマ別さくいんを活用することで、これまで学んできたことを効率よく振り返り、現代の諸課題の成り立ちや変遷を調べることができます。

2 課題例に取り組む

自らテーマを選んで学習することに加えて、P.300-305に掲載した災害・政治参加・世界平和の課題例に取り組むこともできます。

なぜこの課題に取り組むのか、社会の現状や前提となる知識をリード文で説明しています。また、**学習目標**の解決に向けて、いくつかの**ステップ**を用意し、段階をふんで課題を追究することができるように工夫しました。

資料
課題例に対応して、先人たちの取り組みがよくわかる資料を掲載しています。

↓P.300-301

課題例 1 災害の歴史に学ぶ

資料1 日本列島で起きた災害
過去に日本列島で起きた災害を正確に把握することはたいへん困難なことです。死者が1000人を超える大規模災害の発生回数を読み取り、過去の災害のおおまか傾向を見てください。

資料2 ききん対策
18世紀の学保のききんで、人々が土に苦しむの姿を見たと見られる「ききん」を、流石から種から作られたききんを、ききんを育ててお世話をしてきました。江戸幕府の8代将軍徳川吉宗が、この本と種を諸国に配ると、やせた土地でも再び土の肥えが広がりました。

資料3 千善対策
かんがい砲 大阪狭山市の狭山池は、1400年前の飛鳥時代につくられました。以後、行基や朝廷が貯水量を増やす工事を重ね、周辺の農地の水不足を解消し農業を支えてきました。

資料4 被災民対策
被災民救済 被災民救済 被災民救済

資料5 洪水対策
備前川 備前川 備前川

資料6 防火対策
防火 防火 防火

資料7 地震津波対策と災害の記憶の継承
地震津波 地震津波 地震津波

資料8 公民的分野の学習に向けて
政治学 現在の国や地方公共団体の災害に対する取り組みを学びましょう。
国際学 環境問題や自然災害に対する国際協力の重要性が高まるなか、日本の国際社会への貢献や果たしている役割を学びましょう。

注目!
公民的分野の学習に向けて
政治学 現在の国や地方公共団体の災害に対する取り組みを学びましょう。
国際学 環境問題や自然災害に対する国際協力の重要性が高まるなか、日本の国際社会への貢献や果たしている役割を学びましょう。

注目!
公民的分野の学習へ
向けた課題意識をもつことができるようにしています。

- 「課題例」一覧**
- P.300-301 災害の歴史に学ぶ
 - P.302-303 政治参加の歴史に学ぶ
 - P.304-305 世界平和への取り組みに学ぶ
- ※『歴史との対話』を未来に活かす』には、2時間を配当しています。

新しい時代を築く知恵とビジョンを！「歴史との対話」を未来に活かす

よりよい未来を構想するにあたって、過去の人々がどのような課題にぶつかり、解決に向けて取り組んできたかを知ることが大切です。第2編から第6編では、そうした先人の取り組みを学ぶコラムを用意し、未来の構想に備えられるようにしました。

先人に学ぶ
近代社会に日本をみつめ直す
岡倉天心とフェノロサ



● 法隆寺夢殿の救世観音像(奈良県 法隆寺)

● フェノロサと岡倉天心
アーネスト＝フェノロサは、1878年にアメリカから来日し、東京大学で哲学や経済学を教えていましたが、日本美術に関心をもち、日本画の復興に力を尽くしました。

↑P.189 岡倉天心とフェノロサ

→P.79 重源

先人に学ぶ
課題に取り組む先人の姿を、**伝統と文化**、**国際交流**、**産業の発展**、**災害復興**、**資源・環境**、**命の尊さ**の六つのテーマに分けて紹介しています(一覧は教科書P5に記載)。

先人に学ぶ
東大寺の再興と重源
再興を支えた中世の人々



● 重源 (1121~1206) (復原) 東大寺(国宝)

大寺再興に尽力しました。86歳で重源が亡くなった。菜西(→P.81)が重源の役割を引きつぎました。こうして重源を中心に、多くの人々の協力で東大寺は再興され、奈良時代の姿を取りもどしました。

地域に学ぶ
身近な地域から歴史を学ぶことのできる多様な事例を紹介しています(一覧は教科書P5に記載)。

↓P.141 東京都

→P.211 福岡県田川市

地域に学ぶ
江戸の飲料水を支えた玉川上水(東京都)



● 現在も残る玉川上水(東京都小平市) 約30kmが国の史跡指定され、現在も保存されています。

地域に学ぶ
致道博物館(山形県鶴岡市)



● 酒井館長

● 庄内藩の藩校致道館(上)と致道博物館に保存されている明治時代に建てられた旧田川郡役所(下)

↑P.144 山形県鶴岡市

スキルアップ
未来を構想する学習のためには、知識だけでなく技能の習得も重要です。「スキルアップ」では、歴史学習に必要な技能を解説しています(一覧は教科書P5に記載)。

情報を収集する技能

→P.102

博物館の見学のしかた

博物館の見学のしかた

● 見学のポイント

- テーマに従い、めあてをもって見学する。
- チェックリストを作成する

例) 調べるテーマが「遺跡からの出土品」の場合

- いつの時代のものだろうか
- 何に使うものだろうか
- どこでつくられたものだろうか
- どのような内容だろうか
- 国内だけでなく、国外から運ばれたものはないだろうか
- 文字が書いてある場合は、解説パネルやキャプションを参考に調べよう
- 学芸員やボランティアのガイドの方に解説してもらったり、質問したりすることを整理しておく。
- 見学で気づいたことや疑問に思ったことはメモを取る。
- 帰りに行くと、博物館の注意事項を確認する。

↓P.8

歴史上の人物の調べ方

調べ学習のポイント

人物を調べるポイント

- ・生没年はいつでしょうか。
- ・その人物が生きた時代は、どのような世の中だったのでしょうか。
- ・その人物は、どのようなことを行い、その時代にどのような影響をあたえたのでしょうか。

相手に伝える説明のしかた

自分の考えを説明するときは、どのような説明をすれば、聞いてくれる人が理解しやすいのか、考えるようにしましょう。

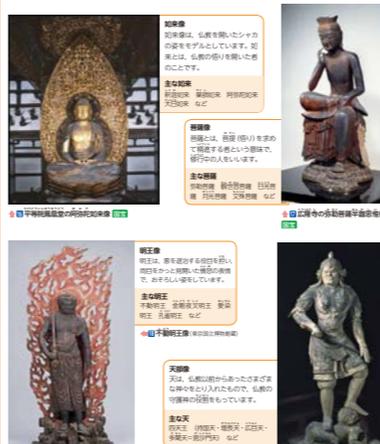
何を言いたいのか、ポイントを最初に説明して、気づいたことだけでなく、その理由などをつけて話しましょう。

系図の見方

系図は、祖先と子孫などの関係を線で記したものです。右の系図の場合、上下線は親子関係、左右線は兄弟姉妹関係をあらわします。この系図は、蘇我氏と天皇(皇統)との関係を中心に記しています。

↑P.41 系図の見方

仏像の見方



● 立地(→P.81) 東大寺(国宝)

←P.57

仏像の見方

情報を読み取る技能

情報をまとめる技能

↓P.103

歴史新聞づくりのポイント

歴史新聞づくりのポイント

● 調べたことをまとめる

はるとさんの班は、調べたことを新聞形式にまとめ、発表することにしました。

調べたことをまとめる方法は、新聞のほかに歴史地図や歴史年表などがあります。

● 歴史新聞づくりのポイント

基本設定

- ・だれに向けてどんなことを伝えたいのかを考える。
- ・調べたことを自分の言葉に書き直して記事にする。
- ・文章以外に、イラストや写真を入れて、わかりやすい版面を心がける。
- ・新聞をつくって考えたことを書くコーナーを、必ず設ける。

技能については、情報を「収集する」・「読み取る」・「まとめる」の三つの段階に対応した事例を紹介しています。



新しい日文**歴史**教科書のポイント

ポイント1

歴史を楽しく 確実に学ぶ

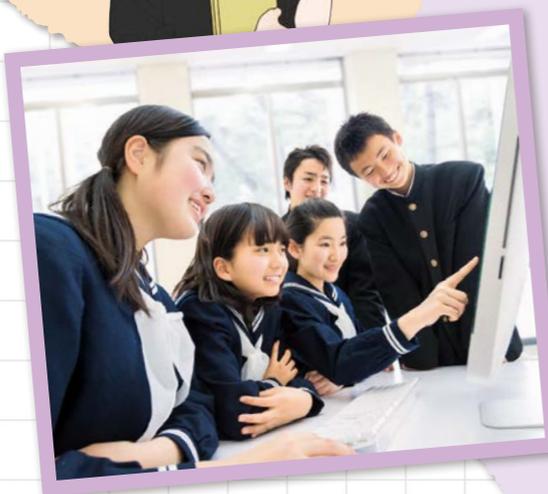
あらゆる教材から、歴史を多面的・多角的にとらえることができます。



ポイント2

学習を支える 教科書 QRコンテンツ

学習内容をさらに深めるためのコンテンツが充実しています。



ポイント4

分野をこえた 連携

他分野、他教科、小学校との連携を意識しながら、地域の実態に合わせたカリキュラムを編成できます。



ポイント3

学習上 配慮した点

すべての生徒が使いやすいよう、様々な工夫をしています。



ポイント5

教科書で取り上げた 主な地域事例

各地域の様々な事例を取り上げています。

1 資料を大きく、豊富に掲載した文化史ページ

文化史は、必要に応じてビジュアルな3、4ページ構成にしました。読み取りやすい大きさで資料を掲載し、効果的に文化史の学習ができる紙面にしました。

江戸時代の人々の楽しみはどのようなものだったのかな。

注目! **資料活用** コーナーで資料活用能力の向上をサポートします。

芸能 **歌舞伎** (浄土劇場 東京都 平本浮世絵美術館蔵) 手前の左手の花道に立つのが市川團十郎です。
資料活用 歌舞伎を楽しんでいるのはどのような人たちが、観客の身分や性別に注目して読み取りましょう。

1 藤徳堂 (宮崎県宮崎市 鉄砲城下町保存会蔵) 藤徳堂の藩校で、明治時代に外務大臣となった小村秀太郎(→P.139)もここで学びました。

2 岡谷学校 (岡山県岡山市 特別史跡岡谷岡谷学校保存会蔵) 岡谷藩が1670年に建てた現存する世界で最も古い庶民のための公立学校です。 **国宝**

3 弘道館 (茨城県水戸市 弘道館事務所蔵) 水戸藩の藩校で、当時の敷地面積は藩校として日本最大規模の広さがありました。

徳川光圀 (1628~1700) (茨城県水戸市 徳川ミュージアム蔵)

大日本史 (東京都 芝川大学教育博物館蔵) この本は、15世紀初めまでの日本の歴史を、代々の天皇ごときに記したもので、尊王思想とよばれる天皇家を尊ぶ考え方のよりどころとされました。

江戸時代前期の学問

社会が安定していくなかで、それまで公家や僧のものとしてきた学問を、武士や庶民もようになりました。

士社会では、中国で生まれた儒学、なかでも主君への忠義やの孝行を大切にする朱子学が広まりました。5代将軍徳川吉家により、孔子をまつる聖堂を江戸の湯島に建て、武士に学問を奨励

尾形光琳 (1658~1716) の装飾画 (燕子花 肉屏風 たて151cm×横339cm 東京都 根津美術館蔵) **国宝**

菱川師宣 (1618~1694) の浮世絵 (見返り美人図 東京 国立博物館蔵)

9 元禄文化 江戸幕府がはらぶ(1867)

注目! **国宝** や **世界遺産** は、わかりやすいアイコンで表示しています。

2 江戸時代前期の文化と学問 -花開く町人文化と学問の奨励-

2 琉球・アイヌの文化のさらなる充実

学習指導要領の改訂に対応して、琉球・アイヌの文化に関する教材の充実を図りました。

1 舟競 (沖縄県 那覇市博物館蔵) 琉球の伝統的行事。この行事が船競とよばれる船(舟)に乗って、遠くを競います。約600年前に、中国との交通により、琉球には紫色の中国から伝えられたとされています。写真は、那覇ハーリーの様子です。

2 紅型 (沖縄県 那覇市歴史博物館蔵) 琉球の伝統的衣装。古くは正装として着られていました。最近では、琉球が舞臺の舞臺地にあること、中国・日本と密接な関係をもつこと、万国津梁(架け橋)となっていること、国内に諸島の産物や宝物が豊富にあることなどが記されています。

3 万国津梁の鐘 (沖縄県立博物館・美術館蔵) 1458年につくられた銅鐘で、首里城正殿にかけられていました。最近では、琉球が舞臺の舞臺地にあること、中国・日本と密接な関係をもつこと、万国津梁(架け橋)となっていること、国内に諸島の産物や宝物が豊富にあることなどが記されています。

4 首里城の守り札 (守り札(丸)と書かれた紙) があります。「守り札」とは、「礼儀を守る」という意味です。

1 アグトワシ 木の皮からつった籠籠を使ってつくった履です。(北海道 旭川市博物館蔵)

2 タシロ 狩猟に使う山刀で、アイヌ模様が刻まれています。(長34.3cm アイヌ民族文化財館蔵)

3 ムクンベ 木製の布を使ってつくった履です。(国立アイヌ民族博物館 旭川市蔵)

4 アイヌマツのようす (アイヌ民族の部 富田市中央図書館蔵)

5 こんぶはめぐる 18世紀後半になると、大阪にこんぶをあつかう問屋ができた。加工品を売る店も目立つようになりました。松前・蝦夷地から北前船が日本海を経由してたらされたこんぶは、上方(→P.141)で消費されただけでなく、大阪から各地に運ばれました。

6 沖繩のこんぶ料理 「クワイリチー」

7 蝦夷地のこんぶ生産のようす (日本山形県 山形市蔵)

歴史を掘り下げる **日本の神話**

現代に生きる私たちにとって神話とは、その時代の人々の信仰やものの見方を知るだけの手がかりです。ここでは、当時の人々が残した神話について、見ていきましょう。

神話とは何か
古代の人々は、この世界はどのようなものか、自分たちの社会や国家がいかに形づくられたかという問題を、神話によって説明しました。神話には、神々の重要なできごとが語られ、人々はそれを信じて行動のよりどころとしました。有名なギリシャ(→P.24)やインドの神話のほかにも、世界の多くの民族がそれぞれの神話をもっていました。

日本では、『古事記』と『日本書紀』の最初の部分が神々の物語です。この神話は、古代の人々の信仰や考え方を伝える手がかりとなっています。

『古事記』『日本書紀』の神話
日本の神話によれば、天と地が分かると、天(高天原)に神々が現れました。最後に現れたのがイザナミ

今に受け継がれている神話を深く掘り下げて紹介しています。

8.4m

1.5m

教科書 P.78 実物大



16世紀前半の京都を読み取ろう

- ①室町幕府の将軍と補佐役の管領の屋敷を見つけましょう。
 - ②将軍と管領の屋敷を見比べて、大きさや建物の特徴を読み取りましょう。
- 2 室町幕府の将軍が政治を行った町の様子
(紙本著色洛中洛外図屏風 十葉集 国立歴史民俗博物館蔵)



紙本著色洛中洛外図屏風

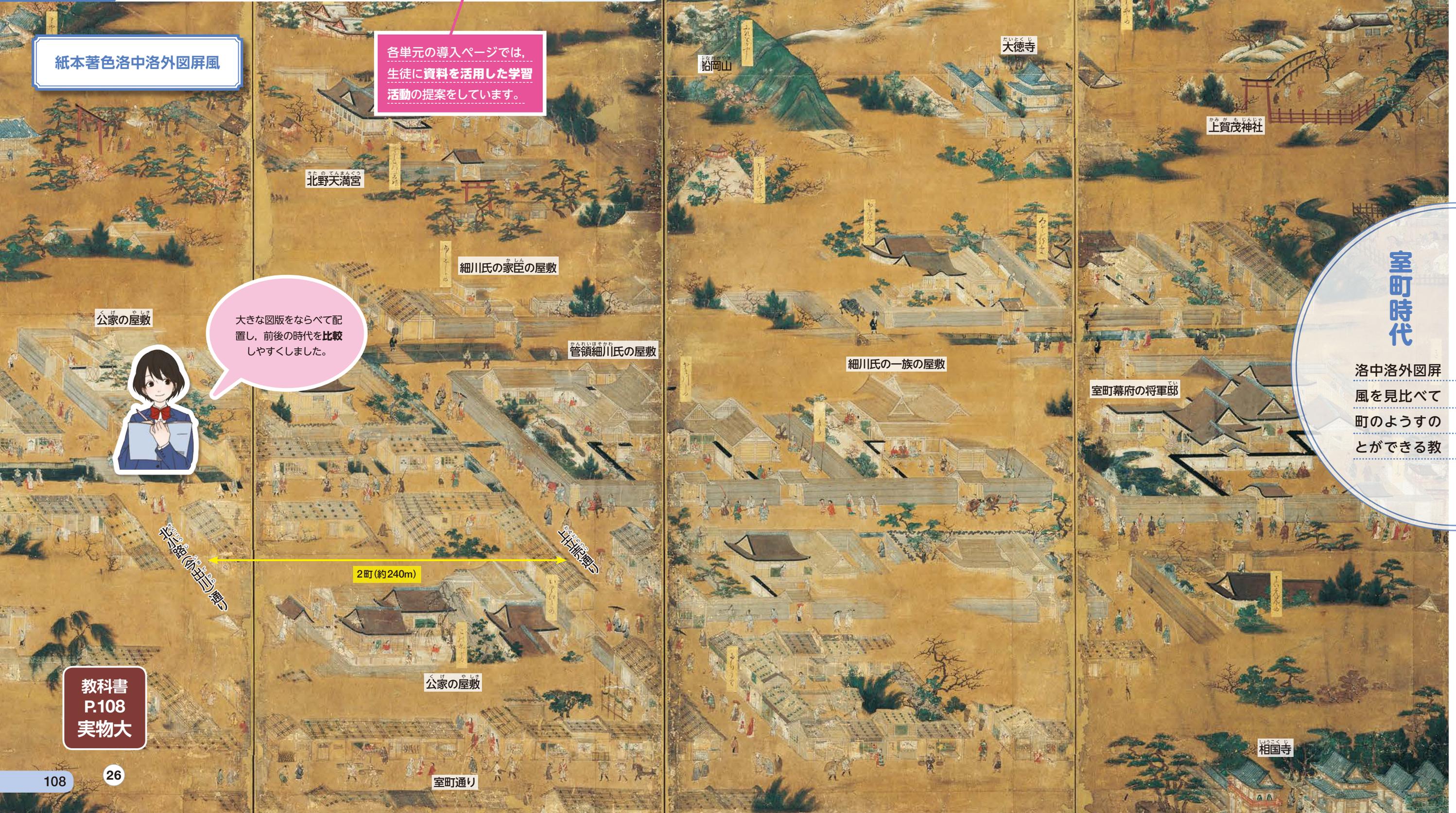
各単元の導入ページでは、生徒に資料を活用した学習活動の提案をしています。

大きな図版をならべて配置し、前後の時代を比較しやすくしました。



室町時代
洛中洛外図屏風を見比べて町のようなところができる教

教科書 P.108 実物大



17世紀前半の江戸を読み取り、中世と近世の将軍の建物を見比べよう

- ①江戸幕府の将軍と家臣の大名の屋敷を見つけよう。
- ②将軍と大名の屋敷を見比べて、大きさや建物の特徴を読み取りましょう。
- ③読み取った中世と近世の将軍の建物の特徴をもとに、中世と近世とではどのような点が変わるのか、その違いを明らかにしましょう。

3 江戸幕府の将軍が政治を行った町の様子 (江戸図屏風 千葉県 国立歴史民俗博物館蔵)



教科書 P.109 実物大

江戸図屏風

これから近世の世界や日本を学ぶうえで、着目すべきポイントを体感的に把握することができます。

井伊家 (譜代大名)

上杉家 (外様大名)

毛利家 (外様大名)

伊達家 (外様大名)

鍋島家 (外様大名)

京橋

町人地



このような歴史学習を楽しむものにするための工夫を各所に施しています。

日本橋

町人地

約120m

P.106~107 1 の範囲

めあて

近世の江戸幕府と、中世の室町幕府の将軍の建物を比べて、どうしてこんなに大きさがちがうのか、この単位ではそのなどを解いていきましょう。

そして、「近世」とはどのような時代か、政治、社会、文化、外交の面で、これまでの時代とのちがいは何かなど、自分の言葉で説明できることをめざしましょう。

江戸時代

風と江戸図屏 中世と近世の違いを学ぶ教材です。

1 災害・復興の歴史から防災・減災を学ぶ

災害と復興の歴史を学び、現代ではどのような防災・減災への取り組みができるのかを学ぶことができる教材を、特設ページや各種コラムであついています。

先人に学ぶ
災害復興

天明のききんと復興

天明の大噴火(浅間山夜分大焼之図 個人蔵)

ききんを引き起こす原因の一つに自然災害があります。1780年代に冷害にみまわれた東日本をおそったのは、浅間山の噴火でした。周辺地域に大きな被害をあたえただけでなく、広い地域に火山灰が降り注ぎました。これにより、数々の餓死者が出ました。噴火の被害にあった群馬県では、復旧清群が見つかりました。これは

↑P.149

歴史
+α 関東大震災

1923年9月1日、関東大震災が起こり、東京や横浜は壊滅状態となりました。被災者は約340万人、死者・行方不明者は10万人をこえました。この混乱のなかで、朝鮮人が井戸に毒を投げこんでいるといったデマが住民や警察によって広められました。住民が組織する自警団や軍隊・警察によって、多くの朝鮮人のほか、社会主義者や中国人が殺害される事件が起こりました。事件の背景には、とつぜんの被災による精神的混乱、朝鮮人に対する差別意識などがあつたものと考えられます。

なお、震災復興事業により、東京や横浜は都市計画に基づいて整備され、街の景観も大きく変わりました。

↑P.235

復興

↑P.149

東日本大震災の津波で流された鉄道線路と駅(2011年3月 岩手県釜石市 釜石駅)

↑P.261

災害からの復興

↑P.149

震災から8年後の鉄道開通を祝う中学生たち(2019年3月 岩手県釜石市 三陸鉄道鶏住居駅) 開通を記念する車両には、中学生がデザインしたラッピングがほどこされました。「ありがとう」を意味する英語やフランス語などの言葉が車体にあしらわれています。

未来へ伝える

先人に学ぶ
災害復興

私たちにできること-震災の教訓を未来に伝える-

先人の防災・減災に関する知恵を学び、今後のそなえを完成させよう

↑P.291

防災

女川いのちの石碑(2013年) 宮城県

防災・減災に関する教材

→本書 P.45 観点別教材一覧「防災・安全にかかわる教材」

環境に関する教材

→本書 P.45 観点別教材一覧「環境・持続可能な社会にかかわる教材」

文化財に関する教材

→本書 P.45 観点別教材一覧「伝統・文化にかかわる教材」

2 環境に関する歴史を学ぶ

公害などの環境問題の歴史的経緯や問題解決に取り組んだ人々の姿を紹介しています。現代の環境問題を一人一人の問題としてとらえ、どのように行動すべきかを考えることができるような教材を各所に掲載しています。

先人に学ぶ
環境・環境

幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル

↑P.294-295

←P.154-155

→P.216-217

地域調べ
公害克服の歴史を調べる
福岡県北九州市

↑P.154-155

歴史
経済発展か、環境保全か、
足尾銅毒事件を通して考えよう

↑P.216-217

3 文化財の保存・修復の取り組みを学ぶ

文化財の保護・継承に尽力した先人たちの取り組みのほか、現在行われている文化財の保存・修復の取り組みについて紹介しています。

歴史を掘り深める

文化財を守り伝える仕事

私たちは、どうして数百年前から千年以上も前につくられた文化財を目にすることができるのでしょうか。そのなぞを解いてみましょう。

九州国立博物館の取り組みに学ぶ

↑P.294-295

注目!

薬師寺東塔の保存修理など、最新の話も取り上げています。

↑P.58-59

奈良県文化財保存事務所の 国宝薬師寺東塔の保存修理に学ぶ

↑P.58-59

ポイント2

学習を支える
教科書QR
コンテンツ

もっと広がる、
教科書の向こうにアクセス
もっと深まる



教科書QRコンテンツのご紹介

教科書内容の理解を助ける動画やワークシートなどの教科書QRコンテンツを、弊社ウェブサイトで公開しています。関連するコンテンツの掲載されている教科書のページには、「デジタルマーク」を表示しています。

教科書QRコンテンツを公開しているサイトは、P5「教科書の構成と使い方」に掲載しているQRコードを読み取ることでアクセスできます。



QRコードを読み取って…

日本文教出版ウェブサイトにアクセスして…



デジタルマーク
このマークのついた教材は、ウェブページにあるデジタル資料で、学習を深めることができます。
<https://www.nichibun-g.co.jp/2021dc/csha/reki/>

↑P5 「教科書の構成と使い方」



見たいコンテンツをクリック!



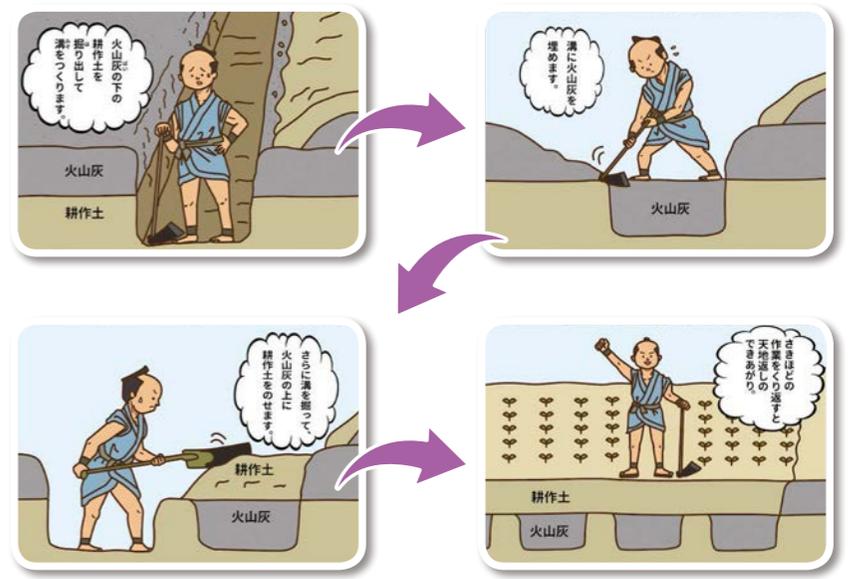
↑P.149
発掘された「天地返し」を行った復旧溝群 (群馬県玉村町 下之宮中沖遺跡)

「天地返し」の図解を示して、遺跡の写真の理解を支援します。



授業の中でも、生徒の自学自習でも使えますね。

スライド教材 「天地返し」



「学習の流れ」に沿った作業ができます。

↑P.74

教科書準拠ワークシート (8教材)

戦局	年	国民の動員
日中戦争が始まる	1937	
	1938	国家総動員法 政府が戦時下、人々を統制する権限をもつ
第二次世界大戦が始まる 日中戦争が長期化する	1939	国民徴用令 戦時下の強制動員の方法を具体的に決める
太平洋戦争が始まる 日本軍の勝利が続く	1941	
ミッドウェー海戦で日本軍が敗退する	1942	
連合国軍の反撃が本格的に始まる	1943	学徒出陣 大学生も徴兵する
大規模な日本本土への空襲が始まる	1944	学徒勤労令 中学生相当年齢以上の全員を強制的に就労させる
日本の降伏	1945	

↑P.250

戦時中の児童・生徒の姿を映像で確認できます。



動画教材 「戦中・戦後の様子」



3 敗戦直後の社会と文化 -がれきの中からの再興-

敗戦直後のくらしの様子を多様な視点で確認できます。



空から見た太平洋戦争後の東京の焼け跡

↑P.268

見やすさ、わかりやすさ、軽さを追求
すべての生徒が快適に学べるように

ユニバーサルデザインフォントの使用

教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)である、「UD黎ミン」「UD新ゴ」(株式会社モリサワ)を使用しています。本文以外の箇所にも、適切なUDフォントを使用しています。

UD新ゴ

幕府の役人と話す竹崎季長(蒙古襲来絵詞 東京都 宮内庁三の丸尚蔵館蔵)
資料活用 季長は、文永の役のあとに、何を訴えたのでしょうか。

UD黎ミン

元軍の進路

フビライ=ハン (1215~1294)

フビライの国書

私の時代になって、日本は一度も使いを送って親交を結んでいない。日本が蒙古の事情をよく知らないことを心配して、特に使いを遣わし、国書をもって私の考えを知らせる。今後は、気持ちを通じあって仲よくしていこう。兵を用いるようになるのは、誰も好むところではないだろう。

→P.83

ルビについて

小学校6年生以上で学習する漢字には、見開きの初出の箇所にルビ(ふりがな)をつけています。また、重要語句には、すべてルビを入れました。ルビの書体にもUDフォントを採用し、小さな文字でも読み取りやすくしています。

「図版番号」について

図版には番号を付し、授業の際に使いやすくしました。また、本文にも関連する図版番号を添えて、本文と図版を関連させて読み取ることで、よりよく理解できるようにしています。

「単元カラー」と時代・世紀のスケール

第2編	古代までの日本と世界
第3編	中世の日本と世界
第4編	近世の日本と世界
第5編 第1・2章	近代の日本と世界
第6編	現代の日本と世界

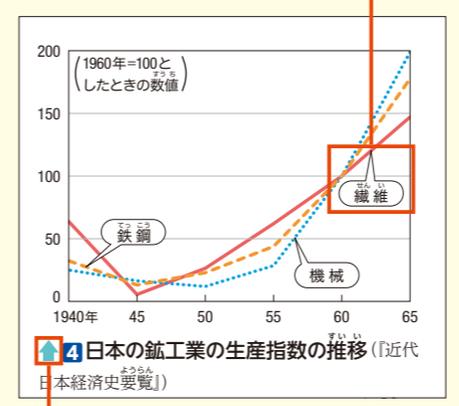
古代から現代まで、各単元(時代)で「単元カラー」を設定し、色遣いを統一しています。また、本文ページの右端に時代・世紀のスケールを設け、現在学習している時代や世紀を、常に確認できるようにしています。

カラーユニバーサルデザインへの対応

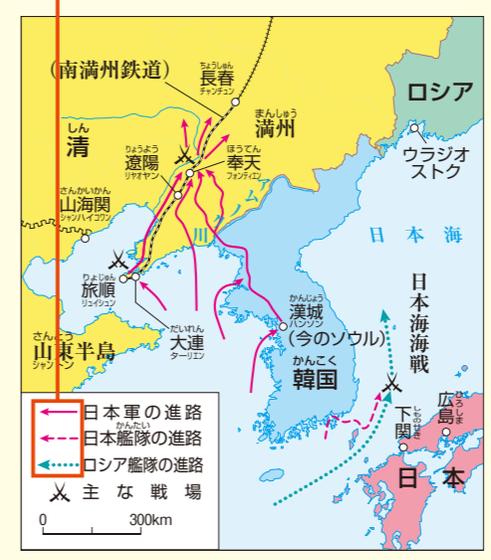
特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、大内進先生(国立特別支援教育総合研究所名誉所員・特任研究員)に校閲をお願いし、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように配慮しました。

CUDへの対応の例

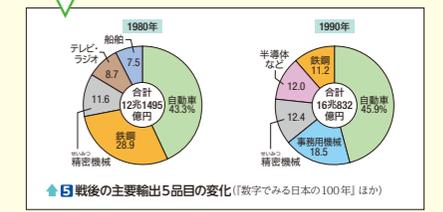
- 線の色だけでなく線種を変更し、違いを明確にしています。
- 凡例表示ではなく、折れ線にフキダシをつけています。



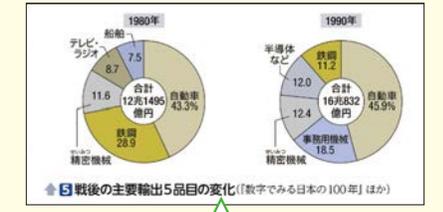
図版タイトルの先頭には矢印を付し、どの図版を指しているのが明確にしています。



●帯グラフや円グラフは細い黒線で区切り、色に頼らない読み取りを可能にしています。



例：1(P)型2色覚の方の見え方のシミュレーション



●教科書の中で使用している色は、色覚に特性のある人でも判別が可能になるよう配慮しています。

教科書の軽量化への取り組み

生徒の持ち運びの負担を軽減するために、平成28年度版の教科書と比較して約5%軽い紙を採用しています。それでいて、裏写りが少なく、十分な強度を持つよう工夫しています。



拡大教科書のご案内

<令和3(2021)年3月発行予定>

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように写真などの図版の配置も再レイアウトしたものです。

18pt/A5判 22pt/B5判 26pt/A4判

このほか、学習者用デジタル教科書(→本書P.48)には、総ルビ表示や機械音声読み上げなどの様々なニーズに対応した機能が搭載されます。

ポイント4

分野をこえた連携

さまざまな学びが
つながらりあって
学びを豊かに実らせます

1 小学校社会科、地理的分野・公民的分野との連携

中学校の歴史学習では、小学校社会科や地理的分野、公民的分野と相互に関連させながら学ぶことが大切です。関連した教材を多数掲載し、他分野等との連携ができるようにしています。

第1編 私たちと歴史

小学校社会科との関連

←P.6-7 小学校で学んだ主な人物と文化遺産の振り返り

地理的分野との関連

↑P.124-125 地形図を活用した地域調べ

→P.283 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの歴史

公民的分野との関連

男女共同参画社会の実現へ

本文見開きの脚注には、小学校社会科や地理的分野・公民的分野の学習との関連を示す連携コーナーを設けています。→本書 P.8-9

- 小学校** 学習した人物：聖徳太子・小野妹子 ←P.40
- 地理** 世界の地域構成や人々のくらしで学習したことを生かしましょう。 ←P.20
- 公民** 議会政治については、3年生の公民的分野でくわしく学習しましょう。 ←P.164

2 他教科との連携

他教科等との横断的な視点で教育課程を組み立てることができるよう、教科書全体を通して関連のある教材を多数掲載しています。

特別の教科
道徳との関連
— 国際理解、生命の尊さ —

→P.131
【近世】雨森芳洲—朝鮮との誠心の交わりを実践した国際人—

先人に学ぶ
国際交流
雨森芳洲
—朝鮮との誠心の交わりを実践した国際人—

現在の滋賀県長浜市高月町に生まれた雨森芳洲は、儒学を学び、対馬藩につかえしました。中国語と朝鮮語を学んでいた芳洲は、1711年と19年に朝鮮通信使の江戸への旅に同行し、親交を深めました。対馬に朝鮮語通訳の学校をつくり、『交隣提醒』をあらわして「誠心(真心)の交わり」の大切さを説くなど、朝鮮との友好に努めました。

江戸時代に築かれた日本と朝鮮との交流を示す貴重な資料として、2017(平成29)年、日本と韓国に残る朝鮮通信使関係の資料が、ユネスコ「世界の記憶(世界記憶遺産)」に登録されました。そのなかには、『交隣提醒』をはじめ芳洲の著作である朝鮮語の入門書なども含まれています。

↑雨森芳洲(1668~1735)
(滋賀県 芳洲会蔵)

他教科と学習内容が共通する場合、担当の先生と相談してカリキュラムを整理することができますね。

先人に学ぶ
命の尊さ
「命のビザ」を発給した杉原千畝

1940年7月、ドイツに占領されたポーランドからの脱出者を含む多くのユダヤ人が、リトアニアの日本領事館にやってくるようになりました。彼らは、シベリアから日本をへてアメリカなどに移住しようとし、それに必要な日本政府のビザ(査証)発給を求めていたのです。日本は、ユダヤ人難民の入国を制限する方針でしたが、リトアニア駐在の外交官杉原千畝は、彼らを無視するこ

→イスラエルの切手になった杉原千畝(1900~1986)(右から2人目)

とができず、外務省の指示に反してビザを発給しました。6000人にのぼると推定される、日本にたどり着いたユダヤ人は、こうした事情を知りませんでした。杉原の行為を讃える声が高まり、イスラエル政府から、1985年に「諸国民の中の正義の人」として勲章がおくられました。

←P.247
【近代】「命のビザ」を発給した杉原千畝

国語との関連 — 古典 —

16 防人の歌

可良己呂武 須宗余等里都伎
奈苦古良乎 意伎豆曾伎怒也
意母奈之余志豆

信濃国の防人 他田舎人大島

訳「わたしの着物のすそにとりついて泣く子どもらを、家においてきてしまった。母親もいないのに、今ごろはどうしているだろうか。」

〔万葉集〕
奈良時代には、まだかな文字がなかったため、「万葉集」は漢字の音や訓で日本語をあらわしており、これを万葉がなといわれます。

↑P.50 【古代】万葉集の和歌

美術との関連 — 鑑賞 —

絵巻資料の見方

絵巻物 内容を述べた詞書の部分と、それに対応する絵が交互に配されて巻物になっているのが原則ですが、絵だけのものも多様です。平安時代に物語絵として流行しました。鎌倉時代は寺社の由来を示した縁起絵巻や仏教の始祖の生涯をえがいた僧伝が多くつくられ、室町時代はお伽草子も絵巻にしています。

↑春日権現験記絵(東京国立博物館蔵)

絵(詞書の内容をえがいたもの)

詞書(物語・説明文)

絵巻物は左手で開き、右手で巻き取りながら読みます。そのため、時間は右から左に流れていくのが基本です。しかし、一つの絵の中にいくつかの場面を同時にえがいているものもあります。

↑一遍上人絵伝(神奈川県 横須賀市 蓮行寺蔵) 一遍が武士と話をしているようすと、武士の館から出ていくようすがえがかれています。

↑P.308 巻末：歴史学習の基礎資料

教科書で
取り上げた
主な地域事例

中部地方

- 新潟県 前島密(上越市, P.183)
- 山梨県 信玄堤(甲斐市, P.301)
- 長野県 棚畑遺跡出土の土偶(茅野市, P.29) / 旧開智学校(松本市, P.187)
- 岐阜県 杉原千畝(八百津町, P.247)
- 静岡県 豊田佐吉(湖西市, P.237) / 古橋広之進(浜松市, P.269)
- 愛知県 小野道風(春日井市, P.55) / 半田の酢づくり(半田市, P.140) ↑写真
- 近代化産業遺産-トヨタ産業技術記念館(名古屋, P.237)



近畿地方

- 三重県 本居宣長と『古事記伝』(松阪市, P.151) / おかげ参り(伊勢市, P.152)
- 滋賀県 雨森芳洲(長浜市, P.131) / 井伊直弼(彦根市, P.176)
文化的景観-滋賀県近江八幡市の水郷(巻末折込P.VI)
- 京都府 平等院鳳凰堂(宇治市, P.53) / 祇園祭(京都市, 表紙・P.100-101) →写真A
金閣・銀閣(京都市, P.98) / 室町時代の京都の様子(京都市, P.108)
妙喜庵待庵(大山崎町, P.123)
- 大阪府 大仙(仁徳陵)古墳(堺市, 表紙・P.32) / 古市古墳群(羽曳野市・藤井寺市, P.32)
人形浄瑠璃文楽(大阪市, P.142)
在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン(大阪市, P.277) / 狭山池(大阪狭山市, P.301)
- 兵庫県 生野銀山(朝来市, P.139) / 赤穂の塩田(赤穂市, P.139) / 斎藤隆夫(豊岡市, P.245)
手塚治虫(宝塚市, P.256・P.285)
- 奈良県 唐古・鍵遺跡(田原町, P.30) / 藤原京(橿原市, P.43)
薬師寺東塔の保存修理(奈良市, P.59) →写真B
高山茶釜(生駒市, P.100) / 西光万吉(御所市, P.233)
- 和歌山県 阿氏河荘の農民の訴え状(有田川町, P.77)
中世の荘園, 柿田荘(かつらぎ町, P.86-87)
エルトゥールル号遭難事件(串本町, P.215)



九州地方

- 福岡県 岩戸山古墳の石人(八女市, P.39) / 九州国立博物館の文化財保存修理(太宰府市, P.58)
三連水車(朝倉市, P.138) / 井上伝と久留米餅(久留米市, P.140) →写真C
山本作兵衛と炭坑記録画(田川市, P.211) / 公害克服の歴史(北九州市, P.294-295)
- 佐賀県 吉野ヶ里遺跡(神埼市・吉野ヶ里町, P.31) / 有田焼(有田町, P.123)
- 長崎県 本木昌造と活版印刷(長崎市, P.120) / 孫文と梅屋庄吉(長崎市, P.209)
- 熊本県 江田船山古墳出土の鉄刀(和水町, P.32)
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産-崎津教会堂(天草市, 巻末年表※6)
- 宮崎県 高千穂神社の夜神楽(高千穂町, P.51)
振徳堂(日南市, P.144) / 石井十次(高鍋町, P.214)
- 鹿児島県 薩摩焼(P.123)
- 沖縄県 守礼門, 万国津梁の鐘(那覇市, P.92) →写真D / 沖縄の基地問題(P.276)



北海道地方

- 北海道 志苔館跡(函館市, P.91)
国立アイヌ民族博物館(白老町, P.132) →写真
アイヌ文化の体験学習(平取町, P.291)



東北地方

- 青森県 江戸時代と現在の弘前ねぶた(弘前市, P.153)
- 岩手県 中尊寺金色堂(平泉町, P.69・巻末年表※3)
東日本大震災で被災し、復興した鉄道(釜石市, P.261)
姉吉の大津浪記念碑(宮古市, P.301)
- 宮城県 藩校養賢堂の旧正門(仙台市, P.144) / 女川いのちの石碑(女川町, P.291)
- 山形県 致道博物館・致道館(鶴岡市, P.144) →写真



関東地方

- 茨城県 徳川光圀と『大日本史』, 引道館(水戸市, P.144-145)
岡倉天心と六角堂(北茨城市, P.189) / 近代化産業遺産-日立市の大煙突(日立市, P.237)
- 栃木県 下野国庁(栃木市, P.45) / 足利学校(足利市, P.100)
徳川家康がまつられる日光東照宮(日光市, P.126) / 田中正造と足尾鉬毒事件(日光市ほか, P.213・P.216-217)
- 群馬県 よろいを着た人物-金井東裏遺跡(渋川市, P.34-36)
「天地返し」下之宮中沖遺跡の復旧溝群(玉村町, P.149) / 富岡製糸場(富岡市, P.182・P.185・巻末年表※7)
- 埼玉県 稲荷山古墳出土の鉄剣(行田市, P.32) / 渋沢栄一(深谷市, P.182)
- 千葉県 加曾利貝塚(千葉市, P.29)
- 東京都 武蔵国分寺(国分寺市, P.49) / 江戸時代の江戸の様子(P.106-107・P.109) / 玉川上水(小平市ほか, P.141) ↑写真E
豪農青木氏が建てた養英館(町田市, P.196) / 五日市憲法草案(あきる野市, P.196)
100年ほど前の田園調布(大田区, P.235) / 東京駅(千代田区, P.237)
旧日立航空機株式会社変電所(東大和市, P.257) →写真F
新旧国立競技場(新宿区・渋谷区, P.260-261) →写真G
オリンピック・パラリンピックの歴史(P.280-281)
- 神奈川県 總持寺の座禅(横浜市, P.80)
今も残る大山詣の道標(伊勢原市, P.152)
解体された小田原城天守閣(小田原市, P.159)



※供給時に、最新の状況に更新する予定です。



中国・四国地方

- 島根県 佐陀神能(松江市, P.51) / 石見銀山(大田市, P.121・巻末年表※6)
- 岡山県 唐子踊(瀬戸内市, 表紙・P.131) / 関谷学校(備前市, P.144) / 洗染一揆(P.178)
伝統的建造物群-吹屋の町なみ(高梁市, 巻末折込P.VI)
- 広島県 壬生の花田植(北広島町, 巻頭P.III) / 厳島神社(廿日市市, P.71・巻末年表※3)
草戸千軒町遺跡, 鞆の浦, 福禅寺対潮楼(福山市, P.102-103・P.131) →写真
ききんにそなえて穀物を保存した倉(安芸太田町, P.147) / 原爆ドーム(広島市, 表紙・P.252-253・巻末年表※7)
- 山口県 久原房之助(萩市, P.237)
- 高知県 坂本龍馬(高知市, P.177・P.179) / 板垣退助(高知市, P.194-197) / 浜口雄幸(高知市, P.241)



教科書検討の観点からみた特色

※青字の「⇒(P.000)」は教科書のページ数です。

教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
⇒取り扱っている内容は、 教育基本法 に適合しているか。 教育基本法第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	我が国の歴史に関する 基礎的・基本的な知識・技能 を確実に習得し、 歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察する態度 を育てることで、 幅広い知識と教養を身に付け るとともに、私たちの今と将来を明るく豊かなものとするために歴史に学ぶことができるようにしている。 ◆第1編「 私たちと歴史 」では、小学校で学んだ歴史上の人物を振り返る学習活動を通して、 歴史的な見方・考え方を働かせた歴史の学び が身に付けられるように構成されており、生徒が中学校の歴史学習の特色を理解して各時代の学習に取り組んでいけるよう配慮されている。 ◆第2～6編の各時代の学習では、学習のめあてを明らかにし、見通しを立てて、学習に取り組むことができるように 導入 で工夫が図られている。 本文 は十分な文字量を確保して、 平易な表現で歴史の流れや因果関係が丁寧に叙述 されている。 ◆ 導入 に対応する まとめ では、 習得した知識を活用して時代の特色をとらえる ことをねらいとした学習活動が設けられている。 ⇒学習の整理と活用 (P.62-63, 104-105, 156-157, 218-219, 258-259, 296-297) ◆各時代に設置された チャレンジ歴史 では、資料の読み取りから、生徒に 選択・判断 させるものまで 発達の段階に応じた教材を掲載 しており、 主体的・対話的で深い学びの実現 が図られている。 ⇒チャレンジ歴史 (P.34-36, 74-75, 136-137, 216-217, 254-255)	⇒P.6-7 ⇒P.8-11 ⇒P.10-11 ⇒P.12-13
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、 勤労を重んずる態度 を養うこと。	意欲的に学習に取り組めるように、学習のねらいを明確にし、 歴史的な見方・考え方を働かせて思考力・判断力・表現力等の向上 を図りながら、 学習の成果を実感できる構成 になっているとともに、 職業および生活と歴史との関わり を知り、 勤労を重んずる態度 を育てることができるようになっている。 ◆本文ページには 歴史的な見方・考え方を示すコーナー や 思考力・判断力・表現力等の向上 を図るコーナーを設け、生徒が意欲的に学習に取り組み、 主体的・対話的で深い学び を実現できるようにしている。 ◆産業を支えた先人の取り組みや文化財の修理に取り組む現代の人々の仕事を取り上げ、 勤労を重んずる態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒歴史を掘り下げる (P.58-59) ⇒先人に学ぶ (P.140) ⇒地域に学ぶ (P.211, 237)	⇒P.8-9 ⇒P.16,29
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	人権尊重、男女共同参画 などについての歴史に関わる事象が豊富に取り上げられているとともに、 協調して取り組む学習活動の場面 では、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身に付け、 社会の一員としての自覚 を培えるようになっている。 ◆今日の基本的な人権は、先人の多年にわたる努力の成果として獲得されてきたものという観点から、 人権に関わる内容は、歴史的な経緯と現在の取り組みを記述し、人権を尊重することの大切さを学ぶ ことができるよう配慮されている。 ◆民主政治の来歴や政治体制の変化、 人権思想の発達や広がり を学習することで、 社会形成への参画 を求めた先人の取り組みを知り、 主権者としての自覚 を培うことができるよう配慮されている。 ◆現代の諸課題について、それが起こった 歴史的な背景や課題に対する先人たちの取り組み を知り、生徒が歴史を踏まえて よりよい未来の実現に向けて構想し、社会の形成に主体的に参画しようとする態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (P.298-305)	⇒P.31 ⇒P.21 ⇒P.14-15, 21
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	防災・減災、資源・環境、生命の尊さ などに関わる先人の働きを積極的に取り上げている。歴史に学び、そこから自分たちの生き方に活かしていく態度や、 生命や自然を大切に する態度を育てることができるようになっている。 ◆災害に関する教材や課題学習を掲載し、 防災・減災を考える態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒先人に学ぶ (P.149, 291) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.300-301) ◆環境問題や公害克服のために活躍した先人たちの取り組みを掲載し、 環境の保全に寄与する態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒先人に学ぶ (P.154-155) ⇒チャレンジ歴史 (P.216-217) ⇒でかけよう! 地域調べ (P.294-295) ◆生命の尊さに関わる教材を掲載し、 かけがえのない生命を尊重する態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒先人に学ぶ (P.215, 247) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.304-305)	⇒P.28 ⇒P.29 ⇒P.30
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	我が国の 伝統と文化の特色 を広い視野に立って考え、 国際平和の実現に向けて、理解を深める ことができる内容を豊富に取り上げ、 自分たちの住む身近な地域や我が国を愛する心、他国を尊重する態度 を育てることができるようになっている。 ◆各時代の 文化の特色を当時の社会の様子と関連させて理解 するとともに、 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっている ことを考えることができるようになっている。 ⇒文化史の学習 (P.48-51, 54-56, 78-81, 92-93, 98-101, 122-123, 132-133 など) ◆日本の領土について、 北方領土や竹島・尖閣諸島を領土に編入した経緯を丁寧に解説し、日本固有の領土であることを明記 している。また、 平和的な問題解決への取り組み をわかりやすく解説している。 ⇒本文ページ (P.190-193, 208-209, 265, 273, 290) ⇒歴史を掘り下げる (P.37, 292-293) ◆戦争の悲惨さや、二度の世界大戦後に 国際連盟や国際連合が設立され、国際平和への努力 がなされたことなどを学び、 平和な国際社会の実現に向けて考える ことができるよう配慮されている。	⇒P.22-27 ⇒P.30 ⇒P.30
⇒取り扱っている内容は、 学校教育法 に適合しているか。	◆ 学校教育法第30条第2項 に示された「 基礎的な知識及び技能の習得 」、「 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力の育成 」、「 主体的に学習に取り組む態度の育成 」が重視されている。	⇒P.6-17

教育基本法及び学校教育法との関連

教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
⇒取り扱っている内容は、 学習指導要領 に示す目標・範囲に適合しているか。	◆ 学習指導要領 に準拠し、 基礎的・基本的な知識・技能の定着 を図り、 各時代の特色を踏まえて、我が国の歴史の大きな流れを理解 するとともに、 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせながら課題を追究 したり 解決 したりする 思考力・判断力・表現力等の向上 を図る学習を通して、 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成 する内容になっている。	⇒P.6-17
⇒ 道徳教育との関連 から、取り扱う内容はどのようになっているか。	◆ 教科書全体が個人の尊重の考え方を基本理念 として構成されており、取り上げられている教材は、 人権尊重・男女共同参画 などの観点から適切に選択されている。 ◆ 主権者の育成 という観点から、 民主政治の来歴や、現代につながる政治制度や人権思想の広がり についての学習が充実しており、 社会参画への関心や意欲、持続可能な社会の形成に参画する態度 を養えるようにしている。	⇒P.31 ⇒P.21
⇒ 基礎的・基本的な知識・技能 の確実な定着を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆本文は原則1授業時間=見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのが 学習課題 で明確に示されている。また、右ページの側注欄には 確認コーナー が設けられ、 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 をねらいとした 学習活動 や 自分の考えを説明 させる問いが提示されており、 習得した知識・技能を用いて文章化・言語化 できるようにしている。 ◆ 本文 は、十分な文字量を確保し、 平易な表現で、歴史の流れや因果関係を丁寧に叙述 している。 ⇒P.8-9 ⇒P.8-9 ⇒P.6-7 ◆ 見方・考え方コーナー を設け、 学習課題の解決 に向けての手がかりとなる 歴史的な見方・考え方の例 を示している。 ◆見開きページの右端には、 時代・世紀のスケール を設け、学習している時代や世紀を前後の時代も含めて常に確認できるように工夫している。 ◆歴史の学習を豊かなものにするために、 歴史+α、先人に学ぶ、地域に学ぶ (コラム)を設置し、 幅広い視点から学習 できるように工夫している。 ◆資料を用いた活動を示す 資料活用コーナー を設けており、 必要な情報の読み取りなどの技能を高める ことができる。 ◆側注欄に設けた 基本用語コーナー では、 歴史を理解 する際に重要な用語を解説しており、生徒がすぐに確認できるようになっている。 ⇒基本用語 (P.5に一覧を掲載) ◆教科書内で関連する事項どうしを結び付ける 参照ページコーナー で、 多面的・多角的な見方 をすることで、 学習内容の定着 を図っている。 ⇒P.8-9 ⇒P.8-9,36 ◆ 連携コーナー では、 小学校社会科の学習や地理的分野・公民的分野の学習とのつながり が示され、 生徒の理解を確かなものにする とともに、 習得した知識を活用 できるようにしている。 ⇒P.8-9 ◆側注欄などを利用して、 小年表・小地図 を適所に掲載し、 歴史に関わる事象の流れや起きた場所 がすぐに確認できるようにしている。 ◆ スキルUP によって、 社会的事象等について調べ・まとめる技能 を身に付けることができるようにしている。 ⇒スキルUP (P.5に一覧を掲載) ⇒P.17	
⇒ 思考力・判断力・表現力等の向上 を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆ 学習課題 の理解を深めるため、 歴史的な見方・考え方を働かせる問いを深めようコーナー として設け、 習得した知識を定着させ活用 させることで、 思考力・判断力・表現力等の向上 を図ることができる。 ◆各時代の まとめ では、 習得した知識を関連させて、時代の特色をとらえる ことをねらいとした アクティビティ を設けており、 生徒による主体的・対話的で深い学び への取り組みを支援している。 ⇒P.8-9 ⇒P.11	
⇒ 学びに向かう力・人間性等 を養うために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆ 現代的な諸課題の歴史的背景や解決 に取り組んだ先人の姿を詳しく解説し、 よりよい社会の実現 を視野に課題を 主体的に解決 しようとする態度を養う学習「 歴史との対話 を未来に活かす」が設定されている。ここでは テーマ別さくいんど 、それを活用して 取り組む課題例 が提示されており、これを参考に、 生徒が自ら選んだ課題学習に取り組む ことができるようになっている。 ⇒P.14-15	
⇒ 歴史的な見方・考え方を習得・活用 するために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆第1編「 私たちと歴史 」では、 歴史的な見方・考え方を働かせた歴史の学び が身に付けられる構成になっており、 本文ページ の学習にスムーズに移行することができるよう工夫されている。 ◆本文ページには 見方・考え方コーナー を設け、その見開きの 学習課題の解決 に向けた手がかりとなる 歴史的な見方・考え方の例 を示している。 ⇒P.6-7 ⇒P.8-9	
⇒ 歴史的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学び を実現するために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆複数の資料をもとに、 歴史について自分で考えたり、対話 したりして 歴史を学ぶ面白さ を体験できる チャレンジ歴史 を設けている。第2編から第5編第2章までの各編(章)の一つずつ設置しており、 発達の段階に合わせて、主体的・対話的で深い学びを実現 できるようにしている。 ⇒チャレンジ歴史 (P.34-36, 74-75, 136-137, 216-217, 254-255) ⇒P.12-13	
⇒図版は、 生徒の興味・関心 を喚起するもので、 かつ読み取りやすいもの に工夫されているか。	◆図版は、 本文との関連が的確で、時代像を具体的にイメージ できる資料が豊富に掲載されている。 実物大資料が多数掲載 されているほか、 資料を読み取る活動 が設定されており、 生徒が楽しく歴史を学びながら資料活用能力の向上 も図れるように工夫している。 ⇒P.22-27	
⇒ 歴史に関わる事象の選択 は、どのようになされているか。	◆ 学習指導要領の趣旨 に基づいて、 各時代の特色や時代の転換 に関係する 基礎的・基本的な歴史 に関わる事象を 重点的に取り上げ 、 我が国の歴史の大きな流れ を的確におさえられるように、 学習材を厳選 している。 ⇒P.6-17, 44	
⇒ 歴史上の人物 について、どのよう に選択 され 位置づけ られているか。	◆本文では、 我が国の先人たちが努力を積み重ね、社会や文化を 発展させ、 生活を豊かに してきた 歴史的過程 を理解できるように記述している。また、 先人に学ぶ、地域に学ぶ などの特設ページやコラムにおいても、 問題解決 に取り組んだ先人の姿を具体的に紹介している。 ⇒先人に学ぶ (P.5に一覧を掲載) ⇒地域に学ぶ (P.5に一覧を掲載) ⇒P.16, 28-31	

創意と工夫

内容の選択

	教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
内容の選択	⇒各時代の文化にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆文化史については、原則3,4ページ構成にして代表的な事例を豊富に、大きく取り上げるようにしている。また、網羅的な取り扱いにならないように配慮している。各時代の文化を我が国の歴史の大きな流れと諸外国との交流のなかで学び、その特色を広い視野から考えられるようにしている。また、琉球・アイヌの文化に関する取り扱いも充実させている。 ⇒文化史の学習 (P.48-50, 54-56, 78-81, 98-101, 142-145, 150-153 など) ⇒琉球の文化 (P.92-93) ⇒アイヌの文化 (P.132-133) ◆我が国の国宝や史跡、世界遺産などを豊富に紹介している。さらに、文化財の保護・継承に大きな役割を果たした先人や現在の取り組みも紹介して、受け継がれてきた伝統や文化を大切に思い、引き継ぐ態度を養おうとしている。 ⇒チャレンジ歴史 (P.34-36) ⇒歴史を掘り下げる (P.58-59) ⇒先人に学ぶ (P.79, 189)	⇒P.22-27, 45 ⇒P.29
	⇒我が国の歴史の背景にある世界の歴史とその関連について、どのような工夫があるか。	◆グローバル化する国際社会をふまえて、我が国の歴史の背景となる世界の歴史の記述が充実している。また、各編・章の導入に地図で見る世界の動きをおき、世界のような動きを概観して学習を始め、世界の動きのなかで日本の歴史をとらえることができるように単元が構成されている。 ⇒地図で見る世界の動き (P.16-17, 66-67, 110-111, 160-161, 222-223, 262-263)	⇒P.10-11, 20-21
	⇒持続可能な社会、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現にむけて、現代的な諸課題にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆今日の私たちに保障されている基本的人権は、先人の多年にわたる努力の成果として獲得されてきたものという観点から、部落差別のほか、女性・アイヌ・在日外国人などの基本的人権に関わる内容は、歴史的な経緯と現在の取り組みを本文で丹念に記述している。女性史コラムが設定され、各時代の女性の姿を紹介するなど人権に関する教材を充実させている。 ⇒女性史コラム (P.5 に一覧を掲載) ◆環境問題や環境保全については、はげ山対策など先人の取り組みを紹介しているほか、国内の産業の発展と公害などの環境破壊の問題を結びつけて考えることができる構成になっている。 ⇒先人に学ぶ (P.154-155) ⇒チャレンジ歴史 (P.216-217) ⇒でかけよう! 地域調べ (P.294-295) ◆災害に対する先人の取り組みを学び、現代社会では、どのような防災・減災への取り組みができるのかを考える態度を養おうとしている。 ⇒先人に学ぶ (P.149, 291) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.300-301) ◆世界の平和をめざした先人の取り組みや平和に向けた国際的な活動を取り上げ、国際協調の精神を養えるように教材を位置づけて、平和や国際理解をめざして行動する態度を培おうとしている。 ⇒本文ページ (P.286-287, 290-291) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.304-305)	⇒P.31,45 ⇒P.29,45 ⇒P.28,45 ⇒P.30,45
	⇒我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を育てるとともに、地域に学ぶ (コラム) が設置され、地域の具体的な事例との関わりをのりながら我が国の歴史を理解させようとしている。また、取り上げられた事例は、その調べ活動を通して、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めるとともに、我が国の歴史について理解と愛情を深めることができるように構成されている。 ⇒でかけよう! 地域調べ (P.60-61, 102-103 など) ⇒地域に学ぶ (P.5 に一覧を掲載) ◆日本の豊かな自然環境の中で生まれた人々の信仰や、日本国号・天皇号の始まりなどを考古学の成果を活用しながら具体的に説明している。 ⇒歴史 + α (P.33, 43) ⇒歴史を掘り下げる (P.51) ◆日本の領土について、北方領土や竹島・尖閣諸島を領土に編入した経緯を丁寧に解説し、日本固有の領土であることを明記している。また、平和的な問題解決への取り組みを解説するほか、現代とは異なる前近代の国際秩序を紹介するなど、現代の課題を広い視野からとらえられる構成になっている。 ⇒本文ページ (P.190-193, 208-209, 265, 273, 290) ⇒歴史を掘り下げる (P.37, 292-293)	⇒P.16,45 ⇒P.23 ⇒P.30,45
	⇒東京 2020 オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆東京 2020 オリンピック・パラリンピック及び 2025 年開催の大阪・関西万博について十分に取扱いされており、近代オリンピックの理念や日本の関わりなどを学ぶことができるようになっている。 ⇒本文ページ (P.260-261, 279) ⇒歴史を掘り下げる (P.280-281)	⇒P.20
組織・配列・分量	⇒我が国の歴史の大きな流れをつかむのに、効果的な組織・配列になっているか。	◆各時代の学習では、導入で学習のめあてを明らかにし、学習の見通しを立てられるよう配慮している。また、第2編から第5編第2章までの各編 (章) に一つずつ設置されたチャレンジ歴史で歴史について自分で考えたり、対話したりする学習活動ができるようになっている。さらに導入に対応するまとめでは、習得した知識を活用してその時代を大観し、時代の特色を大きくとらえることを目的とした学習活動を配置している。この構成を原始・古代から現代まで一貫させることで、時代の特色を踏まえて我が国の歴史の大きな流れを理解できるようにしている。	⇒P.10-13
	⇒配列や分量は適切か	◆全体を「私たちと歴史」「古代までの日本と世界」「中世の日本と世界」「近世の日本と世界」「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」の6編構成とし、詳細な学習に陥ることがないように、学習内容の構造化と焦点化を図っている。115 時間の授業時数で学習が完結できるようにしており、これは、学習指導要領が示す歴史的分野の授業時数 135 時間からいって妥当な分量である。	⇒P.6-7, 10-11, 44
内容の程度	⇒小学校社会科との連携や、生徒の発達の段階に対して、どのような配慮がなされているか。	◆第1編や各時代の導入の年表、本文ページ脚注の連携コーナーにおいて、小学校で学んだ人物・文化遺産などを再確認できる構成になっている。生徒が、既習事項をふまえて、スムーズに中学校の歴史学習に移行できるように工夫している。 ⇒導入の年表 (P.16, 66, 110, 160, 222, 262) ⇒連携コーナー (小学校社会科/P.30, 40, 42, 49, 54, 56, 70 など) ◆生徒に思考・判断・表現等の向上を図る活動では、空欄への記入や自由記述などについて、発達の段階を考慮した配列となっている。語句記入の基礎問題については教科書の巻末に解答例が掲載されており、生徒が自ら確認できる配慮がある。	⇒P.6-7, 10-11 ⇒P.12-13

	教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
内容の程度	⇒地理的分野や公民的分野との連携について、どのような配慮がなされているか。	◆本文ページ脚注の連携コーナーにおいて、生徒が地理や公民の学習に関わる事項を確認、活用することができる。 ⇒連携コーナー (地理・地図帳・公民/P.20, 26, 76, 94, 112, 164, 266 など) ◆地理的分野との連携では、地図を多用して、空間的な見方から史実を的確にとらえる能力を育成しようとしている。公民との連携では、「歴史との対話」を未来に活かす」などで現代社会の諸課題について、その歴史的背景を明らかにし、公民的分野の学習につなぐように構成している。 ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.300-305)	⇒P.36-37 ⇒P.14-15
	⇒カリキュラム・マネジメントについて、どのような配慮がなされているか。	◆学校ごとの生徒の姿や地域の実情に合わせ選択・活用できるように各種の教材が設けられている。 ◆「でかけよう! 地域調べ」、地域に学ぶなどのなかで博物館の見学の仕方や施設職員へのインタビューなどを紹介し、社会と連携・協働しながらよりよい社会を創るために必要な資質・能力の育成に参考となる事例が充実している。	⇒P.17
	⇒学習の深化と発展、生徒の家庭学習に対して、どのような配慮がなされているか。	◆デジタルマークを設け、発行者のウェブサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等の教材に生徒が主体的にアクセスできるようにしている。 ◆深めよう、アクティビティ、資料活用など、随所に問いや活動を設けて、生徒が主体的に学習を行うための教材やシンキングツールなどを豊富に紹介している。 ◆単元末の学習の整理と活用では、学習を振り返るとともに各時代の特色を考えることができるアクティビティが設定されている。記述欄が設けられ、自学自習・自己評価にも対応している。 ◆巻末の歴史学習の基礎資料のほかには、人名・事項・テーマ別 (政治、経済・社会、文化、外交) のさくいんを設置し、生徒の主体的な学習をささえる基礎資料が充実している。 ⇒さくいん (テーマ別/P.298-299, 人名・事項/P.311-317)	⇒P.9,12, 32-33 ⇒P.9,11 ⇒P.11 ⇒P.14
正確性及び表記・表現	⇒文章および図版等の表現は正確か。	◆本文や写真・年表・地図・グラフ・イラスト等の図版類すべてにわたり、内容はもとより、用語の一つ一つまでも細心の吟味を払うとともに、さわめて正確で信頼できるものになっている。	⇒P.8-9, 34-35
	⇒カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応や、表記・表現について、どのような工夫や配慮がなされているか。	◆特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように、配慮が行きわたっている。 ◆本文は、原則1授業時間=見開き2ページとなっており、紙面は学習内容を理解しやすいように、授業や生徒の思考の流れに即したレイアウトで構成されている。 ◆見開きページの右端には、時代・世紀のスケールがそえてあり、学習している時代や世紀を前後の時代も含めて常に確認できるように工夫している。 ◆文字は、視認性の高さで実績のあるユニバーサルデザインフォント (UD フォント) を使用している。 ◆本文は平易な文章で、抽象的・網羅的な記述を避けて、具体的に記述している。 ◆漢字の使用は、細心の注意を払い、小学校6年生以上で学習する漢字や、固有名詞などは見開き2ページの初出にふりがなを付し、読みまちがいのおそれがあるものや人名・地名等については教育漢字であっても極力ふりがなを付して、読み取りやすくしている。 ◆ふりがなは、大きめのゴシック体を使っており、視認性を高める配慮をしている。 ◆重要語句は太字にして、全てふりがなが付されている。ていねいな解説をした側注も充実し、振り返りと広がり意識した参照ページが随所に付され、内容理解の促進が図られている。 ◆図版には番号を付すとともに、本文にも関連する図版番号を添えており、本文と図版を関連して読み取らせるようにしている。 ◆時代区分や年代のあらわし方を説明する教科書P.11 に各時代の色が示され、目次から第1~6編、巻末折込年表にいたるまで、時代の色を統一して示すことで、現在、学習している時代がつねにわかるようにしている。 ◆地図・グラフ等の図版類は、カラーユニバーサルデザインに対応した配色にするほか、形や模様、線の種類など、色以外の情報でも識別できるように配慮している。	⇒P.34-35, 裏表紙 ⇒P.8-9 ⇒P.9 ⇒P.34 ⇒P.34 ⇒P.34 ⇒P.34 ⇒P.34 ⇒P.34 ⇒P.35
	⇒装丁にはどのような工夫がなされているか。	◆表紙の装丁は、歴史的分野の学習内容に即した世界的にも重要な文化財などの写真や、教科書中に登場するキャラクターのイラストを配置している。歴史と現在、先人と私たちとのつながりを想起させて親しみやすく、かつ生徒の学習意欲を喚起するものとなっている。	⇒表紙
	⇒大きさ・判型について	◆見開きページの情報量を充実させるため、ワイドな AB 判が採用されている。	⇒P.8-9
	⇒耐久性や人や環境への配慮がなされているか。	◆製本は、堅牢なあじろ綴じを採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくい本になっている。また、良質で軽い紙を使用して重量をおさえるとともに、十分な強度で裏写りが少なくなるよう配慮され、表面も汚れを防ぐよう加工している。 ◆印刷は、植物油インキを使用している。また、製本には化学物質過敏症の原因物質は使用せず、再生紙を使用して人体や環境への影響を少なくしている。	⇒P.35
印刷・製本・その他	⇒拡大教科書について	◆本文が 18, 22, 26 ポイントの3種類の拡大教科書の発行が予定されている。	⇒P.35
	⇒デジタル教科書・教材について	◆教科書と同一の内容を収録し、拡大・リフロー、機械音声読み上げ、色の反転・配色設定、総ルビ表示等の特別支援にも効果的な機能をもつ学習者用デジタル教科書や、動画・アニメーション表示などの豊富なコンテンツを収録した指導者用デジタル教科書 (教材)、学習者用デジタル教科書 + 教材の発行が予定されている。	⇒P.48-49

学習指導要領との対照表・配当授業時数

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 私たちと歴史 ※「探してみよう！ 私たちと歴史とのつながり」「歴史を学ぶにあたって」を含む	A～C	P.Ⅱ-Ⅳ P.6-13	6
第2編 古代までの日本と世界	B (1)	P.14-63	18
導入／地図で見る世界の動き	B (1)	P.14-17	(1)
1 人類の始まりと文明	B (1)	P.18-27	(5)
2 日本列島の人々と国家の形成 ※ チャレンジ歴史を含む	B (1)	P.28-43	(7)
3 古代国家の展開	B (1)	P.44-61	(4)
とらえよう！「古代までの日本と世界」の特色	B (1)	P.62-63	(1)
第3編 中世の日本と世界	B (2)	P.64-105	14
導入／地図で見る世界の動き	B (2)	P.64-67	(1)
1 古代から中世へ	B (2)	P.68-71	(2)
2 鎌倉幕府の成立 ※ チャレンジ歴史を含む	B (2)	P.72-87	(5)
3 室町幕府と下剋上	B (2)	P.88-103	(5)
とらえよう！「中世の日本と世界」の特色	B (2)	P.104-105	(1)
第4編 近世の日本と世界	B (3)	P.106-157	18
導入／地図で見る世界の動き	B (3)	P.106-111	(1)
1 中世から近世へ	B (3)	P.112-125	(6)
2 江戸幕府の成立と東アジア ※ チャレンジ歴史を含む	B (3)	P.126-137	(5)
3 産業の発達と元禄文化	B (3)	P.138-145	(2)
4 幕府政治の改革と農村の変化	B (3)	P.146-155	(3)
とらえよう！「近世の日本と世界」の特色	B (3)	P.156-157	(1)
第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化	C (1)	P.158-219	26
導入／地図で見る世界の動き	C (1)	P.158-161	(1)
1 欧米の発展とアジアの植民地化	C (1)	P.162-171	(5)
2 近世から近代へ	C (1)	P.172-179	(3)
3 近代国家へのあゆみ	C (1)	P.180-193	(5)
4 立憲制国家の成立	C (1)	P.194-201	(4)
5 日清・日露の戦争と東アジアの動き	C (1)	P.202-209	(4)
6 近代の日本の社会と文化 ※ チャレンジ歴史を含む	C (1)	P.210-217	(3)
とらえよう！「日本の近代化」の特色	C (1)	P.218-219	(1)
第5編 近代の日本と世界 第2章 二度の世界大戦と日本	C (1)	P.220-259	17
導入／地図で見る世界の動き	C (1)	P.220-223	(1)
1 第一次世界大戦と戦後の世界	C (1)	P.224-229	(3)
2 大正デモクラシーの時代	C (1)	P.230-237	(3)
3 世界恐慌と日本	C (1)	P.238-245	(4)
4 第二次世界大戦と日本 ※ チャレンジ歴史を含む	C (1)	P.246-257	(5)
とらえよう！「二度の世界大戦と日本」の特色	C (1)	P.258-259	(1)
第6編 現代の日本と世界	C (2)	P.260-297	14
導入／地図で見る世界の動き	C (2)	P.260-263	(1)
1 平和と民主化	C (2)	P.264-273	(5)
2 冷戦下の世界と経済大国化する日本	C (2)	P.274-285	(4)
3 グローバル化と日本の課題	C (2)	P.286-295	(3)
とらえよう！「現代の日本と世界」の特色	C (2)	P.296-297	(1)
「歴史との対話」を未来に活かす	C (2)	P.298-305	2
(※予備時間：20時間)			
合計			115

※「チャレンジ歴史」には、1時間を配当しています。

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

※第2～6編に設定した「でかけよう！地域調べ」（6時間配当）は、この予備時間を利用して実施することを想定しています。

観点別教材一覧

1. 基本的人権・共生社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.54	奴婢身分の消滅
	—	P.56	古代の女性—政治や文化での活躍—
3	—	P.90-93	中世の琉球やアイヌとのかかわり
	—	P.95	中世の女性—商工業を担う女性たち—
	—	P.99	河原者がつくり出した文化
4	—	P.130-133	琉球王国とアイヌとの関係
	—	P.134-135	江戸時代の身分制
	—	P.147	豊かになる人々と身分制のひきしめ
5	1	P.162-163	プランテーションと労働運動の始まり
	1	P.164-165	王政から議会制へ
	1	P.168-169	アメリカの奴隷解放宣言、先住民の移住
	1	P.178	洗濯—揆（岡山県）

編	章	ページ	項目
5	1	P.181	身分制の廃止と四民平等
	1	P.192-193	沖繩・アイヌの人々
	1	P.194-201	立憲制国家の成立
	1	P.211-212	日本の近代化と社会運動の発展
	1	P.213	近代の女性—家制度と社会運動—
	2	P.230-233	大正デモクラシーの時代
6	2	P.233	近代の女性—女性の政治参加を求めて—
	—	P.266-267	日本国憲法の成立と民主化の進展
	—	P.268-269	生活や権利を守る動き
	—	P.277	在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン（大阪市）
—	—	P.283	現代の女性—男女共同参画社会の実現へ—
—	—	P.302-303	政治参加の歴史に学ぶ

2. 平和・国際理解にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.32-33	ヤマト王権と渡来人
	—	P.37	朝貢・冊封とは何か
3	—	P.85	海底から姿を現した元の軍船（長崎県松浦市）
4	—	P.120	秀吉の海外政策
5	1	P.202-209	日清・日露戦争と東アジアの動き
	1	P.215	エルトゥール号遭難事件（和歌山県串本町）
	2	P.224-229	第一次世界大戦と戦後の世界
	2	P.231	国際協調と軍備縮小

編	章	ページ	項目
5	2	P.238-253	世界恐慌・第二次世界大戦と日本
	—	P.264-273	平和と民主化への動き
6	—	P.275	核兵器廃絶と平和への願い（広島市）
	—	P.276-277	沖繩返還と韓国・中国との国交正常化
	—	P.280-281	オリンピック・パラリンピックの歴史
	—	P.286-287	冷戦の終わりとグローバル化
	—	P.290-291	世界のなかの日本の課題
	—	P.304-305	世界平和への取り組みに学ぶ

3. 伝統・文化にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.48-50, 54-57	古代の文化
	—	P.51	日本の神話
	—	P.58-59	文化財を守り伝える仕事
3	—	P.78-81, 98-101	中世の文化
	—	P.92-93	琉球の文化
	—	P.122-123	安土桃山時代の文化

編	章	ページ	項目
4	—	P.132-133	アイヌ文化の成熟
	—	P.142-145, 150-153	江戸時代の文化と学問
5	1	P.186-189, 212-214	近代（前半）の文化
	2	P.234-236	近代（後半）の文化
6	—	P.284-285	メディアの発達と大衆文化
—	—	巻末 折り返し年表	日本の世界遺産、文化財の種類

4. 我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる教材

編	章	ページ	項目
5	1	P.192-193	領土の画定と隣接地域
6	—	P.265	縮小した領土

編	章	ページ	項目
6	—	P.276-277	復帰運動の高まりと沖繩返還
	—	P.292-293	冷戦終結後の近隣諸国との関係

5. 環境・持続可能な社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
4	—	P.154-155	幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル
5	1	P.216-217	経済発展か、環境保全か、足尾銅毒事件を通して考えよう（栃木県）

編	章	ページ	項目
6	—	P.279	高度経済成長のひずみ
	—	P.294-295	公害克服の歴史を調べる（福岡県北九州市）

6. 防災・安全にかかわる教材

編	章	ページ	項目
4	—	P.149	天明のききんと復興
5	2	P.235	関東大震災
6	—	P.288	安心・安全のゆらぎ

編	章	ページ	項目
6	—	P.291	私たちにできること
			—震災の教訓を未来に伝える—（宮城県女川町）
—	—	P.300-301	災害の歴史に学ぶ

7. 情報にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	—	P.8	調べ学習のポイント、相手に伝わる説明のしかた
	—	P.11	年代・時代区分のあらわし方
2	—	P.41	系図の見方
	—	P.57	仏像の見方

編	章	ページ	項目
2	—	P.60	史跡見学のしかた
3	—	P.102	博物館見学のしかた
	—	P.103	歴史新聞づくりのポイント
5	2	P.257	戦争遺跡の見学のしかた

8. 社会参画にかかわる教材

編	章	ページ	項目
6	—	P.291	歴史から未来へ

編	章	ページ	項目
—	—	P.298-305	「歴史との対話」を未来に活かす

教師用指導書は、「学習指導編」、「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集(CD-ROM)」から構成されます。

学習指導編

総論編	学習指導要領と教科書の対応などを解説した論考や、学習指導計画作成資料などを掲載しています。
学習指導編	毎時の展開例・板書例・内容の解説(「資料活用」「深めよう」「確認」などの解答例・手立てを含む)などを掲載しています。

板書例

授業の際に参考になる板書例を掲載しています。

教科書P.40-41 ワークシート/別冊P.16

2 日本列島の人々と国家の形成 1 2 3 4 5 6

5 聖徳太子と飛鳥文化—巨大帝国と向き合いながら—

本時の視点
隋が中国を統一すると、倭国でも蘇我馬子・聖徳太子らが国家整備を行ない、遣隋使を派遣して新しい政治・文化を導入させた。この時代は、その後の中央集権体制への移行期であった。
また、この時期に栄えた飛鳥文化は、仏教を中心とし、中国南北朝や朝鮮の影響が強いものであったことも理解させたい。

本時のねらい
●資料の読み取りなどを通して、東アジアの文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられていったことを理解することができる。
●蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業の特徴をとりえて、どのような国づくりを目指したのかについて考え、表現することができる。

評価規準例
知識・技能【知】
当時の政治や飛鳥文化についてまとめる。東アジアの文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられていったことを理解することができる。
思考・判断・表現【思】
蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業の共通性に着目して、どのような政治を行ったのかについて考え、表現している。

本時の展開	ねらい・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価
導入10分	○蘇我氏と聖徳太子が行った政治について、内容を把握する。 ◆ワークシートに蘇我氏と聖徳太子が行った政治の内容についてまとめる。	○小学校の学習内容を復習し、生徒の吹き出しを活用して「学習課題」を提示する。「見方・考え方」のような国づくりのための制度や事業だったのかに着目し、「学習課題」の解決を目指して学習を進める。	
展開25分	○蘇我氏と聖徳太子の政治の特徴を明らかにする。 ◆ワークシートにまとめた内容から、当時の政治の特徴や原因はどのようなものか話し合う。 ○飛鳥文化の作品の特徴について理解する。 ◆飛鳥文化の代表的な作品を見て、その特徴について考え、自身の意見をワークシートにまとめる。 ○飛鳥文化の背景を考える。 ◆「深めよう」の問いについて、教科書の記述やワークシートをもとに意見を話し合う。	○既習事項の確認や資料などの読み取りを通して、蘇我氏と聖徳太子の国内政治や外交政策のそれぞれの特徴や政策の意図をつまようようにする。 ○教科書資料6、8、9などから日本と海外の作品を見比べて、飛鳥文化の特徴を明らかにする。【比較】 ○教科書資料は拡大したものを黒板に貼ったり、プロジェクター等で投影したりしてもよい。 ○隋、唐の中国統一などの海外情勢が倭国に与えた影響を踏まえ、仏教が積極的に導入された理由をまとめるようにする。【つながり】	○発表内容から、蘇我氏と聖徳太子がおこなった政治の特徴を明らかにする。【知】 ○ワークシートの記述から、前時の学習内容を踏まえ、仏教が積極的に導入された理由をまとめることができる。【思】
まとめ15分	○蘇我氏と聖徳太子の政治の特徴から、そのねらいについて理解する。 ◆「確認」について、グループで意見をまとめる。	○本時で学習してきた政治と文化の特徴を比べて、共通している部分(「ねらい」)はどこかということ考えられるようにする。【比較】	○話し合いの様子から、蘇我氏と聖徳太子が国家としての体制を整える仕組みづくりに尽力したことを評価する。【思】

本時の展開

教科書の展開に沿った学習活動や発問例、指導上の留意点、評価などを、使いやすい指導案の形で例示しています。「見方・考え方」を授業でどう扱うかについても提案しています。

解答例・手立て

教科書の中に出てくる問いの解答例や、指導の手立てを示しています。

第2編 古代までの日本と世界

板書例

◆蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業には、どのような共通するねらいがあるのでしょうか。
国外の動き：隋(唐)の様子→中国統一が進む

◆蘇我氏と聖徳太子の国内政治の特徴
→儒教や仏教の思想の導入
→天皇や政府の力を強める体制づくり

◆遣隋(唐)使の派遣の意図
→隋との国交樹立
→新しい政治や文化の導入

◆飛鳥文化
・文化財：法隆寺、四天王寺
・飛鳥三尊像、玉虫厨子、弥勒菩薩像
→中国・朝鮮などの文化の影響を受けた。日本でも最初の仏教文化

◆なぜ熱心に仏教を信じ、寺院を建てたのか。
→ヤマト王権のねらいは何か。
→隋(唐)が中国を統一する国際情勢のなか、倭国でも大陸文化を取り入れて、国家のしくみを整えようとした。
→寺院を建てることで自分の権力を示そうとしたため。

内容の解説

図2「聖徳太子と伝えられる肖像画」
既習事項の活用として、半世紀ほど経った後継者としてから名づけられた「聖徳太子」が定着しているが、当時は大王の後継者を生前に決める制度(皇太子)はなかったと考えられている。

図3「十七条の憲法」
官原制に再編成されるべき諸豪族に対する政治的服従規程や道徳的訓戒という性質を持ち、後世の法に強い影響を残した。

図4「遣隋使の手紙と隋の皇帝」
倭国からの国書には、隋の皇帝様だけでなく、倭国王に対しても「天子」の称号を用いている。中華思想において「天子」は唯一であるため、倭国の国書は倭帝にとって非常識極まりないものであり、これに対して激怒した。

図8「飛鳥時代の日本の仏像」
この仏像は、京都市にある法隆寺の弥勒菩薩半跏思惟像である。法隆寺は、603年、渡来系の人々の蘇我氏から新羅と加羅の使者がもってきた仏像をさすけられ、622年、太子の没後にその仏像を安置することで創建された。

片足をおろし、片足をもう一方のひざにのせて腰掛け、右手をおのりたりにあづかる半跏思惟像は、中国では南北朝時代の遺品であり、日本では飛鳥から天平時代に盛んにつくられた。

本文P.40、8行目「冠位十二階」
中国の冠位や朝鮮半島の官位を模範としたものである。門地にとらわれず、個人の才能や功績、忠誠に応じてさげられた。蘇我氏や王族、地方豪族は、冠位授与の特権にあった。



P.41 深めよう
仏教など外国の宗教の考えを取り入れ、国内の思想をまとめようとした。また、権威のシンボルとして寺院の建立を進めた。

P.41 確認
隋が中国を統一するなか、倭国でも大陸文化を取り入れて、国家のしくみを整えようとした。

ワークシート・評価問題編

ワークシート編

教科書に準拠した、学習指導編の展開例の内容に対応するワークシートを掲載します。
※解答例入りの赤刷りは、デジタルデータ集(CD-ROM)に収録しています。

単元ごとに作成した「評価問題例」と「評価問題例の解説」を掲載しており、定期テストなどでの問題作成の参考となるようにしています。

評価問題例
知識・技能等を評価する問題や思考力・判断力・表現力等を評価する問題をバランスよく設定しています。特に思考力・判断力・表現力等を評価する問題については、様々な歴史的な見方・考え方を働かせて解答する問題を設定するなどの工夫をしています。

評価問題例の解説
解答例のほか、A判定の生徒に対する更なる課題や、誤答箇所別対応などのその後の指導方法も提案しています。

デジタルデータ集(CD-ROM)

教科書収録データ

① 教科書紙面データ集 (総ルビ付きPDFも収録)
電子黒板など提示型ICT機器を利用して、授業に活用できるように、教科書全ページの紙面をPDF形式で収録しています。

② 教科書本文テキスト
教科書の本文・コラムなどのテキストデータを収録しています。

③ 教科書図版データ集
プリントやテスト作成の際に活用できるように、教科書図版をモノクロ化して収録しています。

付録データ

④ 学習指導計画案
評価規準の参考事例となる学習指導計画作成資料を収録しています。

⑤ ワークシート
解答例なし・解答例入りの2種類を収録しています。

⑥ 白地図
日本全図・国県対照と五畿七道など

ワークシートNo.16
第2編 古代までの日本と世界 2 日本列島の人々と国家の形成
5 聖徳太子と飛鳥文化—巨大帝国と向き合いながら— 教科書P.040-041

年 組 番 名前 _____ 学習日 年 月 日

学習課題 蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業には、どのような共通するねらいがあるのでしょうか。

① 蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業を、それぞれまとめよう。

国内の政治	海外への働きかけ
●冠位十二階の制度 →ヤマト王権の家族たちの序列をはっきりさせた。	●遣隋(唐)使を派遣する →中国を統一した隋に小野妹子などの使節を送った。 →留学生や僧を同行させた。
●十七条の憲法を定める →ヤマト王権の家族たちが役人として天皇につかえらるときの心がまえを示した。	●中国を統一した隋(唐)と国交を結ぼうとした。 →ヤマト王権の家族を支配する仕組みを整えようとした。

② 飛鳥文化の特徴についてまとめよう。
① 飛鳥文化を代表する建築や作品

法隆寺(奈良県)、四天王寺(大阪市)
釈迦三尊像(法隆寺)、玉虫厨子(法隆寺)、弥勒菩薩半跏思惟像(法隆寺)

② 飛鳥文化はどのような文化だろうか。

中国や朝鮮などの文化の影響を受けた。日本でも最初の仏教文化

③ 蘇我氏と聖徳太子はなぜ熱心に仏教を信じて、次々に寺院を建てたのだろうか。

・寺院を建てることで自分の権威を示そうと考えたため。
(仏教など外国の宗教の考えを取り入れて、国内の思想をまとめようとしたため。)

④ 蘇我氏や聖徳太子が新たな制度や文化を取り入れたのは、なぜだろうか。

自分の考え 隋(唐)が中国を統一する国際情勢のなか、倭国でも国家のしくみを整えようとした。

現在のモンゴルの騎馬

P.66~67の地図と比べてみよう。

④ 元の襲来と鎌倉幕府—ユーラシアの帝国と御家人の藩閥—

強大なモンゴル帝国
13世紀の初め、チンギスハーンがモンゴル民族を統一し、モンゴル帝国を築きました。モンゴル帝国は、アジアからヨーロッパにまたがる広大な地域であるユーラシア大陸を支配しましたが、のちに分裂しました。東部を治めたフビライハーンは、都を大都(今の北京)に移し、国号を元と決めました。フビライは、1279年に宋をほろぼして中国全土を支配しました。モンゴル帝国が成立したことにより、交通路が整えられ、東西の

① 教科書紙面データ集 総ルビ付きPDF

→⑥ 白地図

※商品は現在開発中のため、記載内容及び仕様は予告なく変更する場合があります。

●学習者用デジタル教科書

生徒一人一人に個別に最適化された学びをサポートします！

日本文教出版は、「学校教育法等の一部を改正する法律」の公布を受けて制度化された、**学習者用デジタル教科書**を発売します。

この学習者用デジタル教科書は、学校教育法において規定された基準において、必要に応じて紙の**教科書に代えて**利用することができます。



↑教科書 P.82-83

デジタル教科書って何？

ポイント①



紙の教科書と同一の内容を収録しており、紙の教科書と併用して使用することができます。

ポイント②



基本的に生徒一人一人が、個々の端末で利用します。

ポイント③

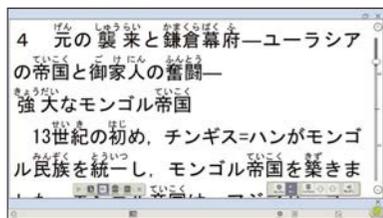


紙面の拡大や書き込みなど、ICT教材ならではの機能が活用できます。

学びを助ける機能の充実

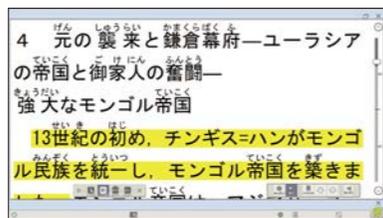
充実した機能は、特別な配慮を必要とする生徒の学習も支援します。

リフロー・総ルビ表示



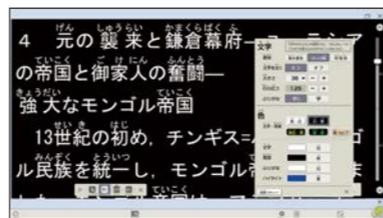
文字の大きさや行間を調整する**リフロー表示**が可能です。また、すべての漢字にルビ(ふりがな)を表示する**総ルビ表示**にも対応しています。

機械音声読み上げ



機械音声による**読み上げ機能**が搭載されています。読み上げ速度の変更や読み上げる箇所を**ハイライト表示**することも可能です。

背景色・文字色等の変更



背景色や文字色、書体や行間などを変更することが可能です。

●指導者用デジタル教科書(教材)

学習者用デジタル教科書とは別に、**指導者用デジタル教科書(教材)**も発売します。**動画やスライドショーなどのコンテンツ**を通して、内容理解をより深めることができます。



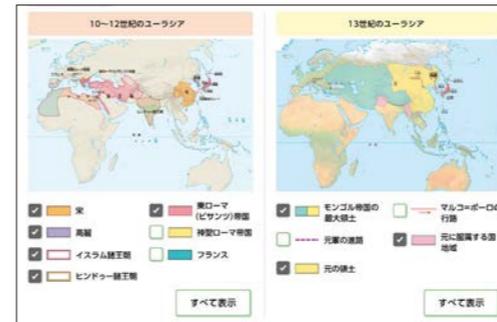
教科書紙面とコンテンツが一体化しており、授業をサポートする指導者用教材です。

豊富なコンテンツで生徒の理解を助けます

コンテンツ例①

地図の比較 「モンゴル帝国の成立前後」

紙の教科書では別ページに掲載している地図を並べて表示します。



↑教科書 P.82

コンテンツ例③

スライドショー 「勘合貿易のしくみ」

教科書の図版を段階的に示すことでより理解しやすくします。



↑教科書 P.90

コンテンツ例②

資料の解説 「歌舞伎」

資料活用の解答例を表示して、読み取り作業の確認ができます。



↑教科書 P.142

その他のコンテンツ例

- ・一斉授業で使いやすい「図版の単独拡大」
- ・読み取りに便利な「地図・グラフの凡例別表示」
- ・興味・関心を引き出す「アニメーション」など

●学習者用デジタル教科書+教材

学習者用のコンテンツを収録した教材です。生徒一人一人が**個々の端末**で利用することを想定しています。



●各種商品情報

「学習者用デジタル教科書」

「指導者用デジタル教科書(教材)」

「学習者用デジタル教科書+教材」

発売：令和3(2021)年3月 予定/価格：未定

動作環境：Microsoft Windows10/8.1、iOS11/12 (iPad)・iPadOS13、Google Chrome OS

※表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。

※本ソフトウェアは開発中のため、本記事の内容および仕様は予告なく変更する場合があります。



体験版のご案内

弊社ウェブサイトにて、ウェブブラウザ上で動作する各種商品の体験版を公開しています。ご利用にあたり、ファイルのダウンロード等は必要ございません。

🔍 日文 デジタルサポート 🔍 検索